

PosReg

— Visual Cash Register —

操作説明書

電子パーツ・無線機・制御機器・計測器設計製作



松本無線パーツ(株)岩国

〒740-0018 山口県岩国市麻里布町 4-14-24

URL: <http://www.patok.jp>

E-mail: info@patok.jp

はじめに

このたびは PosReg をご利用いただき、誠にありがとうございます。

PosReg は当社で使用し続けてきたシステムを、一般小売店向けに改良を重ねて製品化したものです。充実した機能、使いやすさを備え、コストパフォーマンスに優れた製品となっております。PosReg は、今まで積み重ねてきた集大成であり、当社が自信を持ってお勧めできる完成度の高い製品です。

どうぞ PosReg を末永くご利用になり、ご意見やご感想などがありましたら、当社あてメールアドレスにご連絡いただければ幸いです。

※本マニュアルで使用されている会社名、商品名等は、各社の登録商標です。

2017年2月

電子パーツ・無線機・制御機器・計測器設計製作

PATOK

松本無線パーツ(株)岩国

〒740-0018 山口県岩国市麻里布町 4-14-24

URL: <http://www.patok.jp>

E-mail: info@patok.jp

目次

序章 1

概要	1
動作条件	1
インストール	2
PosReg の実行	2
アンインストール	2

第1章 PosReg の特長 4

第2章 各種設定 5

2-1. サンプルデータの取り込み方	5
2-2. 各キーの機能と名称	6
2-3. 設定画面の説明	7
1. [ファンクションキーレイアウト]コマンド	8
2. [全体] コマンド	9
3. [部門] コマンド	11
4. [PLU] コマンド	13
5. [グループ] コマンド	15
6. [担当者] コマンド	16
7. [締めキーファイル (取引1)] コマンド	17
8. [取引キーファイル (取引2)] コマンド	17
9. [合計器を持たないキー (取引3)] コマンド	18
10. [固定合計器] コマンド	19
11. [レシートメッセージ] コマンド	19
12. [2段値札] コマンド	20
13. [精算 -全ファイル] コマンド	20
14. [ODBC リンク] コマンド	21
15. [ODBC 拡張] コマンド	22
16. [取引先] コマンド	23
2-4. レシートの書式設定	24
2-5. カスタムディスプレイの設定	24
2-6. オプション設定	26

第3章 担当者登録 28

第4章 商品登録 29

4-1. グループ登録	29
4-2. 部門登録	30
4-3. PLU 商品登録	31
4-4. 商品画像登録	32

第5章 売上登録（通常登録） 33

5-1. レジ担当者の登録	33
5-2. レジ責任者の変更	33
5-3. 金額入力による売上登録	33
5-4. 部門に単価が登録してある場合の売上登録	34
5-5. 画像を使って売上登録（部門）	34
5-6. 画像を使って売上登録（PLU）	35
5-7. スキャナでバーコードを読み取る場合の売上登録	35
5-8. 値引き・値増しの方法	36
5-9. 割引き・割増しの方法	37
5-10. 信用売りとして売上登録	38
5-11. ポイントを利用して売上登録	39
5-12. ポイント販売	41
5-13. 入金・出金・両替の方法	45
5-14. レシートオン・オフの切り替え方法	46
5-15. レシート発行の方法	46
5-16. 領収証発行の方法	47

第6章 訂正・変更・戻し処理 49

6-1. エラーメッセージの解除	49
6-2. 入力中の訂正	49
6-3. 個数の変更	49
6-4. 入力確定後の訂正	50
6-5. 取引終了後の訂正（戻し処理の方法）	51

第7章 予約 52

7-1. 任意指定	52
7-2. 「02」, 「20」～「29」	53
7-3. 予約を呼び出す	54

第8章 点検 56

第9章 精算 57

9-1. 全体精算の方法	57
9-2. 精算レポートの見方	59

第10章 サンプル集 62

第11章 付録 64

序 章

■ 概要

1. 本ソフトはシェアウェアです。
ご試用期間は、90日間とさせていただきます。
ご試用には、アクティベーションを行っていただく必要があります。
2. 本ソフトウェアは、市販されているパーソナルコンピュータにインストールすることにより、取引を行い、レシートを印刷するとともに、取引の精算を行います。
3. ODBC データソースに対応していますので、ご使用になるお客様の要望を、ほとんどデータベースアプリケーション開発のなかで吸収することが可能です。
4. パーソナルコンピュータのタッチパネルやキーボード操作による取引キーをカスタマイズする、ファンクションキーレイアウト設定が可能です。
5. 基本レジスターとしての機能を以下に示します。
 - ・部門売上 {1~999件}
 - ・PLU (バーコード) 売上 {1~4294967294件 (理論上)}
 - ・2段値札 (2段バーコード) 売上
 - ・受注番号売上 (ODBC データソース使用時のみ可能です)
 - ・取引1 : 現預、貸売、信売、券売、ポイント使用
 - ・取引2 : 入金、出金、両替、非加算、ポイント販売、値引、割引、値増、割増、訂正、戻し
 - ・取引3 : 予約、部門No、金額、小計、桁解除、担当者No、乗算、バーコード、
売価変更、万券、レシートオン/オフ、レシート発行、非課税、免税、
税/奉、特地税非課税、客数、ツーゼロ、取引先/品名変更、
領収証発行、ユーザ定義アプリケーションの実行 (売上傳票リンク等)、減税、取引先挿入
 - ・点検 : 部門、PLU、グループ、担当者、取引関係、固定合計器、現金収支、レシート
 - ・精算 : 部門、PLU、グループ、担当者、取引関係、固定合計器、現金収支、全ファイル
6. 複数の消費税率に対応しています。
7. 店舗独自で、ポイント販売 (プリペイド)、ポイントの付与やポイントの使用ができます。
8. 予約や後会計の登録を保存し、随時追加登録や会計ができます。
9. カード決済端末に金額を送信できます。
10. レシート用紙58mm幅と80mm幅のロールペーパーに対応しています。
11. サブディスプレイウインドウ (拡張画面) とエプソン社の特定のカスタマーディスプレイに対応しています。
12. 部門一覧画像や PLU の部門別バーコード/画像一覧から選択できる、画期的な部門/PLU 売上が可能です。
画像ファイルは部門No./バーコードNo.を半角数字のファイル名にしたものをご用意頂く必要があります。
例えば、部門No.75の画像の場合、“75.jpg”、バーコードNo.4902710634284の画像の場合、“4902710634284.jpg” にして下さい。
既定値での画像サイズは、横133×縦100ピクセルでインポートしますので、当該ピクセル以上の画像をご用意下さい。

尚、パーソナルコンピュータ側の使用方法や他のアプリケーションを併用するときは、パーソナルコンピュータの取扱説明書や、他のアプリケーションの取扱説明書をお読み下さい。

■ 動作条件

本ソフトウェアを使用するためには、以下の条件が必要です。

1. 動作 OS は、Windows XP/7~10 です。
2. 動作 CPU は、インテル系 i386 以上です。
Celeron 1.3GHz 以上を推奨いたします。
3. 動作メモリーは、128MB 以上です。
256MB 以上を推奨いたします。

4. 動作ハードディスク空き容量は、200MB 以上です。
10GB 以上を推奨いたします。
5. 当該 OS 対応のレシートプリンタ。
EPSON 社製 TM-T88 シリーズを推奨いたします。
ただし、OLE POS には対応していませんので、当該 Windows プリンタドライバーが配布されている
必要があります。
用紙幅は 80mm と 58mm に対応しています。

必要に応じて、バーコードスキャナーやキャッシュドロアをご準備下さい。
キャッシュドロアを使用する場合は、レシートプリンタをキャッシュドロアコントロール可能なものにする必要があります。

■ インストール

市販されているパーソナルコンピュータに PosReg をインストールして下さい。
インストールは、Setup.exe を実行します。
後は、セットアップの案内に従って下さい。

※重要 — セットアップ中に表示されるライセンス契約書を注意してお読み下さい。
ライセンス契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェアのインストールを行わないで下さい。

■ PosReg の実行

デスクトップに作られた“PATOK PosReg”のショートカットを選択し、実行して下さい。
または、“スタート” → “すべてのプログラム” → “PATOK アプリケーション” → “PATOK PosReg”を選択し、実行
して下さい。
PosReg が起動すると、責任者選択ダイアログが表示されます。
予め担当者として“オーナー”のみが登録してありますので、Enterキーを押して下さい。
本説明書を熟読され、正しい操作をご習得の上、ご活用頂きます様お願いいたします。

尚、ご使用いただくためには、お手数ですが、PosReg の“ヘルプ”メニューから“PosReg のライセンス情報”
を選択し、ライセンスキーの入力とアクティベーションを行っていただく必要があります。
PosReg のライセンスをご購入いただいたお客様は、届いたライセンスキーを入力して下さい。
ご試用いただくお客様は、「試用キー」ボタンをクリックして下さい。
アクティベーションは、「送信」ボタンをクリックして下さい。

※認証サーバーにアクセスできない場合は、認証サーバーにアクセス可能なコンピュータで、URL
「<https://www2.patok.jp/WebApp/LicenseServer/ManualActivate.aspx>」を閲覧いただき、ライセンスキーとハード
ウェア情報を入力後、「アクティベーション」ボタンをクリックして、アクティベーションキーを取得して下さい。

■ アンインストール

PosReg は、OS でアプリケーションの追加と削除を行うことでアンインストールして下さい。
アプリケーションの追加と削除については、OS の説明書等をお読み下さい。
レシートファイルや部門一覧選択のサムネイル画像等、後に作成したデータはアンインストールされませんので、イン
ストールフォルダ（通常は、“C:\Program Files\PATOK\PosReg”）を開いて削除して下さい。

■ 開発元・著作権

電子パーツ・無線機・制御機器・計測器設計製作

P A T O K

松本無線パーツ(株)岩国

〒740-0018 山口県岩国市麻里布町 4-14-24

TEL (0827)24-0081(代) FAX(0827)24-1444

URL: <http://www.patok.jp>

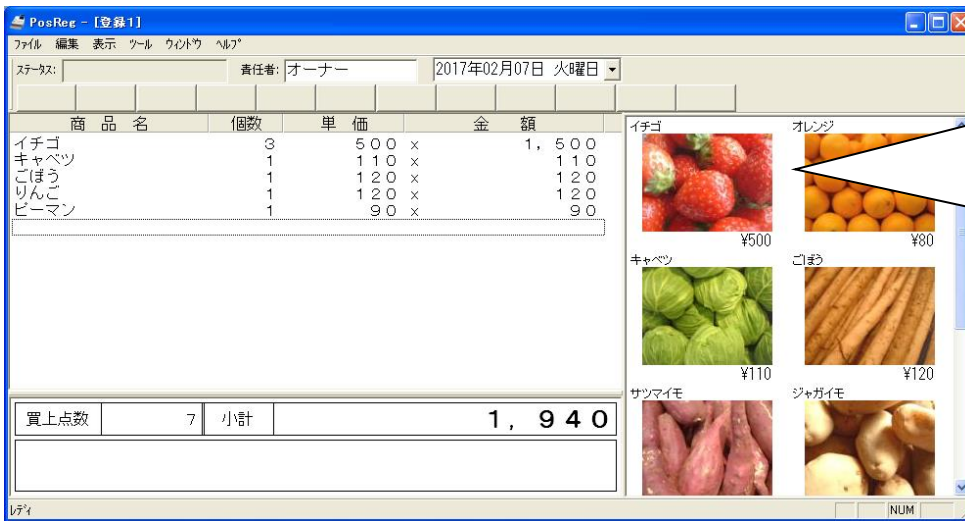
E-mail: info@patok.jp

※本テキストで使用されている会社名、商品名等は、各社の登録商標です。

第1章 PosReg の特長

PosReg は、高性能パソコンレジソフトです。

一般的な Pos レジ機能に加え、画像からの視覚的な売り上げ登録が可能です。



部門一覧選択欄に商品画像を取り込んで、見た目に分かりやすいレジ操作ができるので、打ちまちがいを防ぐことができます。

■参照■
P32.4-4.商品画像登録



■参照■
P31.4-3.PLU 商品登録



部門一覧選択欄を別ウィンドウで表示することができます。

ウィンドウを大きく使うことで、多くの商品を閲覧することができます。

■参照■
P34.5-5.画像を使って売上登録 (部門)
P35.5-6.画像を使って売上登録 (PLU)

第2章 各種設定

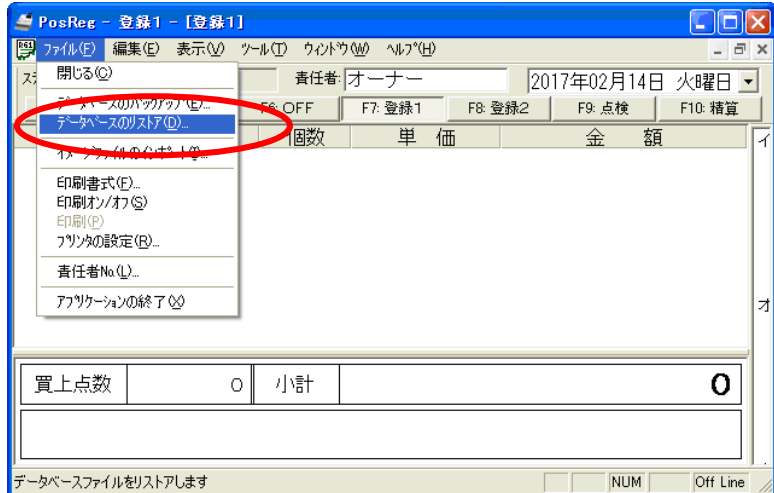
2-1. サンプルデータの取り込み方

本編で使用する『八百屋サンプルデータ』を PosReg に取り込みます。不要な場合はこの操作を行わないでください。また、[データベースのバックアップ]で保存したデータは、この方法で復元できます。

〔例〕はインストール時にデータの保存先を変更しない場合で説明しています。

〔例〕『八百屋サンプルデータ』をリストア（復元）する。

①[ファイル]→[データベースのリストア]



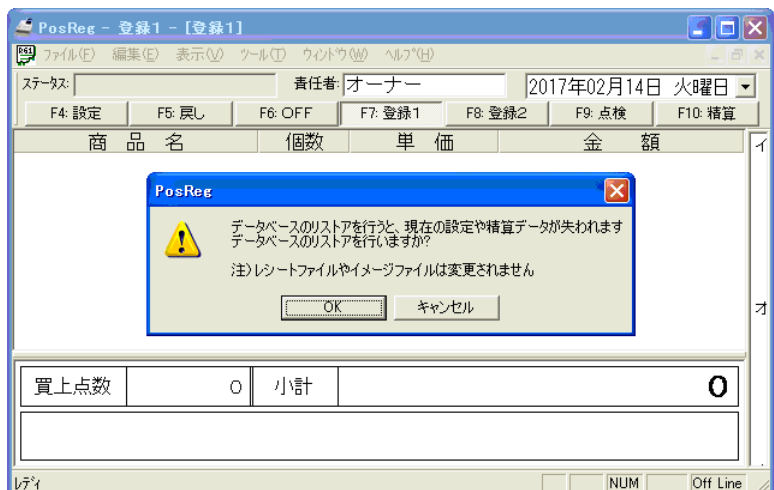
②右図のメッセージが出たら

OKを選択します。

※PosReg 使用中にとったバックアップを復元するときは、リストアをすると現在の設定や精算データが失われますので、失われても良い場合のみリストアを行ってください。

③リストアを行うファイルを選択します。

C→ProgramFiles→PATOK→ PosReg
→Samples→八百屋.dbk
→開く(O)



続いて、イメージファイル（商品画像）をインポート（取り込み）します。

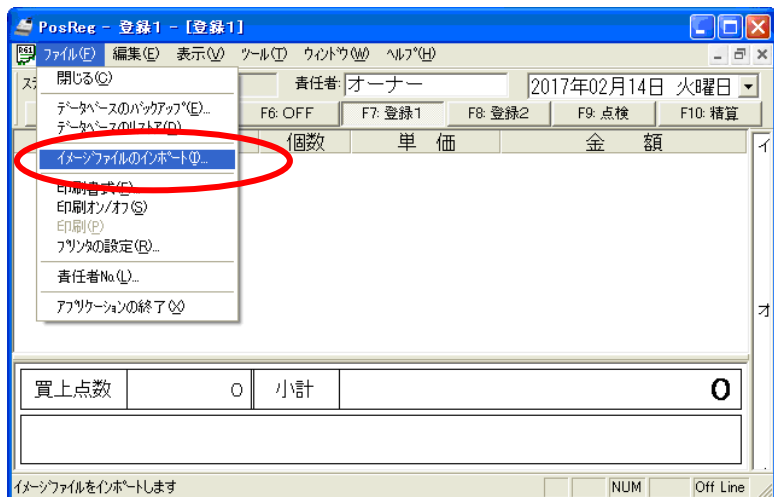
④[ファイル]→[イメージファイルのインポート]

⑤インポートする画像が保存してあるフォルダを選択します。

C→ProgramFiles→PATOK→ PosReg
→Samples→Image1（フォルダ）
→OK

※画像のファイル名には決まりがありません。

詳細は P32. 4-4. 商品画像登録 を参照してください。



2-2. 各キーの機能と名称

既定の設定における各キーの機能と名称を以下に示します。

キーは数字を除いて、自由に割り当ての変更が可能です。本説明では既定の設定で説明します。

※割り当ての変更は、**F4 設定** → **1. ファンクションキーレイアウト** で行ってください。

キー	名 称	機 能
[A] ~ [Z], [Shift] + [A] ~ [Z]	部門キー	部門を指定するときに使用します。
[↑], [↓], [←], [→]	カーソルキー	選択されている部分を、上下左右に移動するときに使用します。
[PageUp], [PageDown]	頁切り替えキー	選択されている部分を、頁ごとに上下左右に移動するときに使用します。
[Home], [End]	頁ジャンプキー	選択されている部分を、最初の頁や最後の頁に移動するときに使用します。
[0] ~ [9]	テンキー	金額、数量や番号等の置数時に使用します。
[?]	責任者No.キー	担当者の交代や暗証番号を変更するときに使用します。
[]	レシートオン/オフキー	レシート用紙への印字を行ったり、あるいは行わないときに使用します。
[]	レシート発行キー	レシート用紙への印字を行うときに使用します。
[~]	領収証発行キー	レシート発行後に、その登録の領収証を発行するときに使用します。
[BackSpace]	1文字クリアキー	直前に入力した数値を訂正する場合に使用します。
[Delete]	置数クリアキー	置数を訂正する場合に使用します。
[Esc]	クリアキー	置数やエラー等を解除する場合に使用します。
[*]	乗算キー	このキー操作の前に置数があるときに、乗算キーとして使用します。
[.]	ツーゼロキー	百円単位の数値を入力するときに便利なキーです。0が2桁続けて入力されます。
[#]	ノンアドキー	登録に直接関係のない数値を入力するときに使用します。
[F7]	万券キー	10,000 円の置数をこのキーを押すだけで表示できます。
[F9]	訂正キー	訂正を行うときに使用します。選択されている部分の登録が取り消されます。
[+]	部門No.キー	部門番号で登録を行うときに使用します。
[F8]	金額キー	部門番号登録時に部門番号登録後、金額を入力するときに使用します。
[]	売価変更キー	登録されている PLU コードの売価を変更するときに使用します。
[Enter]	OBR コードキー	バーコードをコードNo.で登録するときに使用します。
[]	値引きキー	各部門、商品や小計に対する値引きを行うときに使用します。
[]	割引きキー	各部門、商品や小計に対する割引きを行うときに使用します。
[Alt] + []	値増しキー	各部門、商品や小計に対する値増しを行うときに使用します。
[Alt] + []	割増しキー	各部門、商品や小計に対する割増しを行うときに使用します。
[F5]	入金キー	入金を行うときに使用します。置数後このキーを押すとその金額の入金レシートを発行します。
[F6]	出金キー	出金を行うときに使用します。置数後このキーを押すとその金額の出金レシートを発行します。
[¥]	両替キー	両替を行うときに使用します。

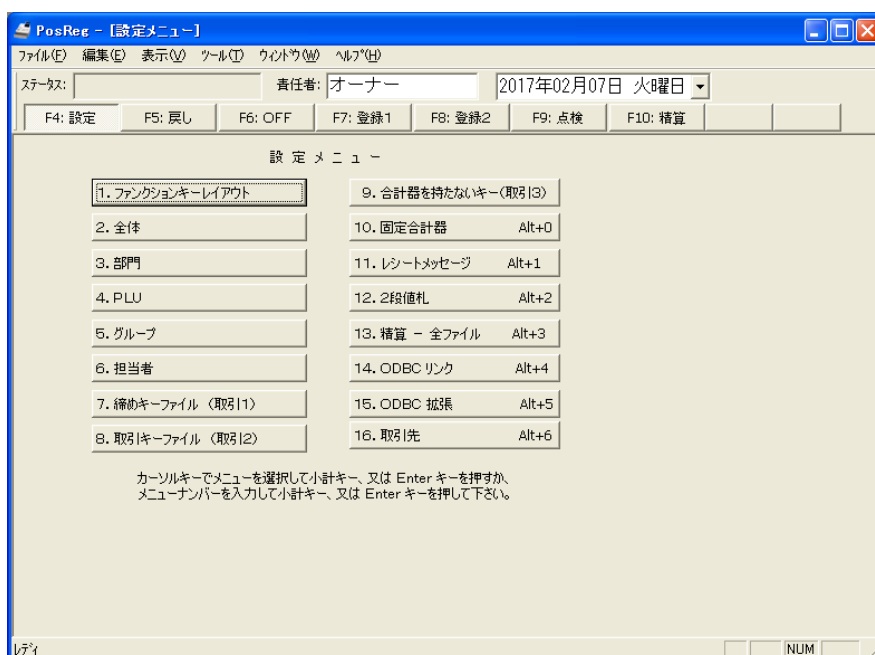
※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

キー	名 称	機 能
F1	現金預かりキー	現金売りの登録を行うときに使用します。預かり金の後に押せば自動的につり銭計算を行います。
F2	貸し売りキー	貸し売りを行うときに使用します。
F3	信用売りキー	信用売りの登録を行うときに使用します。
F4	券売りキー	商品券等の現金売り以外の取引処理を行うときに使用します。一部入金、つり銭計算が可能です。
Space	小計キー	それまで登録した金額の中間計を知りたいときに使用します。
F10	取消キー	取引途中の登録をすべて取り消し、元に戻します。
F11	減税キー	軽減税率の対象商品の登録を行うときに使用します。
F12	切替キー	入力中の取引を切り替えるときに使用します。
Shift + F4	ポイント使用キー	ポイントを使うときに使用します。
Shift + F5	ポイントキー	ポイントの登録をするときに使用します。
Shift + F11	取引先キー	取引先の入力をするときに使用します。
Shift + F12	予約キー	取引の予約をするときに使用します。
Shift + Esc	戻しキー	レシート発行後に、その登録の戻し（返品）処理を行うときに使用します。
!	桁解除キー	置数入力において、制限桁数以上の桁数を入力したいときに使用します。
?	非課税キー	非課税商品の登録を行うときに使用します。
\$	免税キー	免税取引の登録を行うときに使用します。
%	税/奉キー	サービス料金と特別地方税の自動計算を行うときに使用します。
&	特地税非課税キー	特地税非課税商品の登録を行うときに使用します。
:	客数キー	客数の登録を行うときに使用します。
Insert	品名変更キー	取引先や商品名の入力を行うときに使用します。
=	売上傳票キー	売上傳票リンクアプリケーションを起動します。[売上傳票リンク設定]で指定した、別のアプリケーションを起動したいときに使用します。

2-3. 設定画面の説明

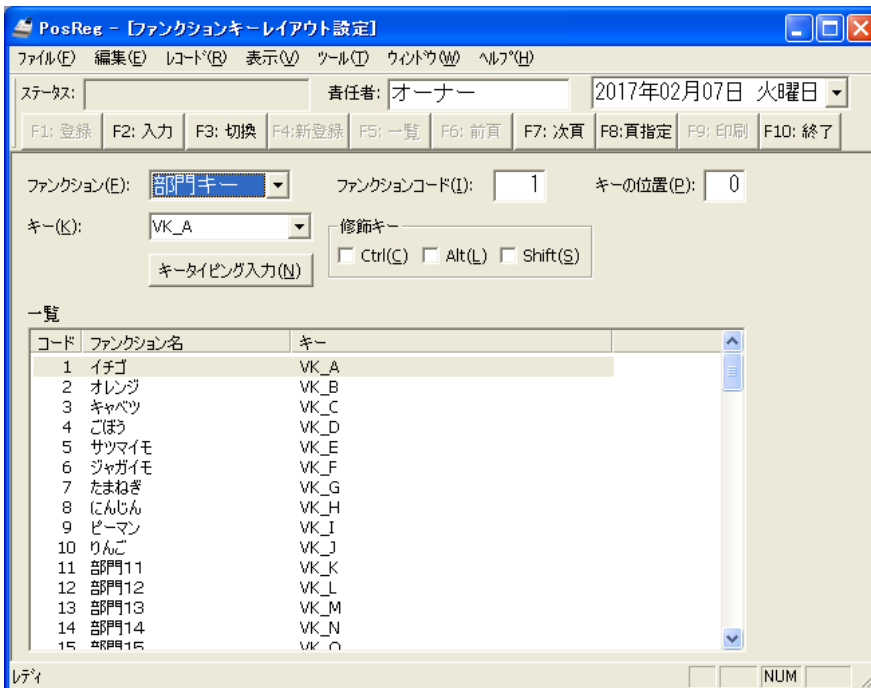
F4または **F4: 設定** をクリックすると[設定メニュー]ウィンドウが表示されます。

[設定メニュー]には以下のようなコマンドがあります。



1. [ファンクションキーレイアウト]コマンド

ファンクションキーレイアウト設定を行います。



■ ファンクション

レイアウトを設定するファンクションを選択します。

リスト ボックスには、使用できるファンクションが一覧表示されます。

■ ファンクションコード

レイアウトを設定するファンクションコードを入力します。

リスト ボックスには、使用できるファンクションコードが一覧表示されます。

■ キー

当該ファンクションを実行するキーを入力して下さい。[キータイピング入力]ボタンを押すと、PosReg は [キータイピング入力] ダイアログ ボックスを表示しますので、使用するキーを入力して下さい。

※システムで使用しているキー (Ctrl + Alt + Delete等) は使用しないで下さい。システムの方が優先となりますので、設定しても機能しません。システムで使用しているキーは、OS や他の起動中のアプリケーションに依存しますので、詳細は使用する OS や、同時に使用するアプリケーションの説明書等を参照して下さい。

リスト ボックスには、使用できる仮想キーが一覧表示されます。仮想キーとは、Shiftキーや Caps Lockキー等の状態によって変わることを指します。

■ 修飾キー

キーに仮想キーを入力したときに、修飾するキーをチェックして下さい。[キータイピング入力]ボタンを押して、使用するキーを入力した場合は、PosReg は該当する修飾キーをチェックします。

2. [全体]コマンド

全体設定を行います。

■ ストア/マシンNo.

レシートの左上隅に印刷する文字を入力します。

■ レシート一連No.

レシートの右下隅に印刷する一連ナンバーの初期値を入力します。

■ 印刷書式

レシートの書式を選択します。

印刷書式には以下のような種類があります。

基本印刷

見出しの印刷を行いません。通常は、見出しの代わりにロゴ印刷を行います。

ファイル (F) → **ロゴファイルの設定 (M)** で店舗のロゴなどの画像ファイルを指定すると、見出しの“お買上票”をロゴに設定できます。

取引明細の印刷を行う前に、レシートメッセージ、ストア/マシンNo.と日付の印刷を順に行います。

標準印刷

見出しとして、“お買上票”と“毎度ありがとうございます”の印刷を行います。見出しの後に、レシートメッセージ、ストア/マシンNo.と日付の印刷を順に行います。以降、取引明細の印刷を行います。

下付領収印刷

見出しとして、“領収証”の印刷を行います。見出しの後に、ストア/マシンNo.と日付の印刷を順に行います。以降、取引明細の印刷を行います。取引終了時に、取引合計金額とレシートメッセージの印刷を順に行います。

上付領収印刷

見出しとして、“領収証”の印刷を行います。見出しの後に、ストア/マシンNo.、日付、取引合計金額、レシートメッセージと“明細”の印刷を順に行います。以降、取引明細の印刷を行います。

■ 印紙税免税点

領収証発行時、収入印紙貼り付け欄の印刷を行う金額を入力します。

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

■ ポイント単位

何円ごとにポイントを付与するかを入力します。

■ ポイント倍率

ポイント単位ごとに何ポイントを付与するかを入力します。

※ここでは全体に関するポイント単位、ポイント倍率を設定します。

取引先ごとの設定や詳細については P23. 16. [取引先]コマンドの■ ポイント倍率 を参照してください。

■ 消費税丸め

取引合計金額の端数をサービスする方法を選択します。

消費税丸めには以下のような方法があります。

OFF

消費税丸めは行いません。

5円丸め

端数が5円単位になるように、取引合計金額の値引きを行います。

10円丸め

端数が10円単位になるように、取引合計金額の値引きを行います。

■ 基消費税率 (基本消費税率)

消費税率を100倍した値を入力します。

例えば、消費税率が10%の場合は1000、消費税率が3.5%の場合は350を入力して下さい。

■ 外税端数処理

課税対象金額から消費税額を計算するときに、小数点以下の端数処理方法を選択します。

外税端数処理には、切り捨て、四捨五入、切り上げがあります。

■ 内税端数処理

消費税を含む金額から消費税額を計算するときに、小数点以下の端数処理方法を選択します。

外税端数処理には、切り捨て、四捨五入、切り上げがあります。

■ 現金前回残高

始業前や、精算を行った後に、釣銭用に残しておく現金を入力します。

■ 消費税率1・2・3

最多で4種類の消費税率に対応できます。

通常は、設定した税率選択に応じた消費税率を用いますが、減税取引を開始すると、基本消費税率を選択している部門やPLUは、消費税率1に切り替わります。

※消費税率1が0の時は、減税取引を開始できません。

3. [部門]コマンド

部門設定を行います。

■ 部門名 (画面)

画面に表示する部門名を入力します。

■ 部門名 (印刷)

レシートに印刷する部門名を入力します。

■ 部門番号

部門キーや部門リンクで参照する番号を入力します。1～999の範囲で設定して下さい。

■ グループリンク

グループにリンクする番号を入力します。[グループ設定]で登録してあるグループ番号を入力して下さい。

■ 部門一覧選択

部門一覧選択を行うか否かを選択します。ON を選択した場合、リピート登録はできません。単価を入力してある場合、PLU の部門リンク参照はできません。

■ 単価

置数無しで部門キーを押したときの売価を入力します。0を入力した場合、置数無しで部門キーを押すと、部門一覧選択が ON であれば、PLU の部門リンク参照になり、OFF であれば、リピート登録を除いてエラーになります。

■ 入力桁制限

当該部門で登録できる売価の最高桁数を入力します。0を入力した場合、桁数は無制限になります。

■ 置数オーバーライト不可

売価を置数で置き換えることを許可するか否かを選択します。ON を選択した場合、置数を入力した後に部門キーを押すとエラーになります。

■ 内税指定

単価や置数が消費税を含むか否かを選択します。

■ 消費税非課税指定

当該部門が消費税非課税か否かを選択します。

■ 特別地方税非課税指定

当該部門が特別地方税非課税か否かを選択します。

■ 税率指定

当該部門に適用する消費税率を選択します。

※消費税率は、2. [全体] 設定コマンドで設定します。(P10. ■ 基消費税率 参照)

※都合上、基本消費税率は〔基消費税率〕と表示しています。

■ ポイント対象指定

当該部門がポイント対象か否かを選択します。

■ F11キー：PLU

同ウィンドウ内の〔部門一覧選択〕をONにすると使用できるキーです。

表示部門のPLU一覧を表示し、マウスの右ボタンクリックで表示順を変更できます。

表示順を空ける

選択している商品の手前を空けます。

「図1」では、「にんじん」と「りんご」の間に空白を挿入します。

※先頭の商品を選択して空白を挿入することはできません。（「図 2-3.1」では「ごぼう」）

表示順を詰める

選択している商品の手前を詰めます。

「図 2-3.2」では、「にんじん」と「りんご」の間の空白を詰めます。

表示順を変える

選択している商品の「部門一覧選択表示順番」を変更します。

選択している商品を、ドラッグ&ドロップ（マウスの左ボタンを押下したまま、移動先でマウスの左ボタンを離すこと）でも変更できます。



図 2-3.1 PLU一覧表示例 1



図 2-3.2 PLU一覧表示例 2

4. [PLU 設定]コマンド

PLU 設定を行います。PLU とは"プライス・ロック・アップ"のことで、POS レジの売価をコントロールするマスターです。[ODBC リンク設定] (14. で説明) で商品をリンクしている場合、PLU 設定はできません。

■ PLU 商品名 (画面)

画面に表示する PLU 商品名を入力します。

■ PLU 商品名 (印刷)

レシートに印刷する PLU 商品名を入力します。

■ PLU コード

バーコード入力で参照するコードを入力します。

■ 部門一覧選択順番

部門一覧選択で、表示を行う順番を入力します。部門リンク毎に、1 から表示を行う順番を入力して下さい。

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

■ **部門リンク**

部門にリンクする番号を入力します。[部門設定]で登録してある部門番号を入力して下さい。

■ **単価**

バーコード入力したときの売価を入力します。0を入力した場合、PosReg はバーコード入力時に、自動的に売価変更キーを入力します。

■ **入力桁制限**

当該 PLU で登録できる売価の最高桁数を入力します。0を入力した場合、桁数は無制限になります。

■ **置数オーバーライト不可**

売価を置数で置き換えることを許可するか否かを選択します。ON を選択した場合、売価変更キーを入力した後にバーコード入力すると、エラーになります。

■ **内税指定**

単価や置数が消費税を含むか否かを選択します。

■ **消費税非課税指定**

当該 PLU が消費税非課税か否かを選択します。

■ **特別地方税非課税指定**

当該 PLU が特別地方税非課税か否かを選択します。

■ **税率指定**

当該 PLU に適用する消費税率を選択します。

※消費税率は、2. [全体] 設定コマンドで設定します。(P10. ■ 基消費税率 参照)

※都合上、基本消費税率は〔基消費税率〕と表示しています。

■ **ポイント対象指定**

当該 PLU がポイント対象か否かを選択します。

5. [グループ]コマンド

グループ設定を行います。

PosReg - [グループ設定]

ファイル(F) 編集(E) レコード(R) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月07日 火曜日

F1: 登録 F2: 入力 F3: 検索 F4: 新登録 F5: 一覧 F6: 前頁 F7: 次頁 F8: 頁指定 F9: 印刷 F10: 終了

グループ名 (画面)

グループ名 (印刷)

グループ番号

レコード: 1 / 21 / 20
レディ NUM

■ グループ名 (画面)

画面に表示するグループ名を入力します。

■ グループ名 (印刷)

レシートに印刷するグループ名を入力します。

■ グループ番号

グループリンクで参照する番号を入力します。1～999の範囲で設定して下さい。

6. [担当者]コマンド

担当者設定を行います。

■ 担当者名 (画面)

画面に表示する担当者名を入力します。

■ 担当者名 (印刷)

レシートに印刷する担当者名を入力します。

■ 登録権

[設定メニュー...]で選択できる各種設定の登録権を選択します。

登録権には以下のような種類があります。

参照権のみ	設定内容は確認できますが、設定内容を変更することを禁止します。
登録権のみ	設定内容の確認や変更はできますが、部門や PLU の追加等、新規に登録することを禁止します。
新規登録権	設定に関する全ての権限があります。

■ 担当者番号

責任者選択で参照する番号を入力します。1～9 9 9 9の範囲で設定して下さい。

■ システム操作習得レベル

PosReg を使用する上での操作習得レベルを入力します。

システム操作習得レベルには以下のような種類があります。

0	初心者におすすめいたします。確認メッセージのデフォルトボタンのほとんどを、“いいえ”や“キャンセル”にします。
1	一般者におすすめいたします。確認メッセージのデフォルトボタンを、頻繁に使用しない機能を除いて、“はい”や“OK”にします。
2	熟練者におすすめいたします。頻繁に使用しない機能を除いて、確認メッセージを出しません。

■ 機能使用禁止指定

担当者によって機能の使用を禁止するか否かを選択します。禁止可能な機能には、設定、戻し、登録1、登録2、点検や精算があります。

7. [締めキーファイル（取引1）]コマンド

締めキーファイル（取引1）設定を行います。

■ 取引名 (画面)

画面に表示する取引名を入力します。

■ 取引名 (印刷)

レシートに印刷する取引名を入力します。

■ 取引禁止指定

登録モードによって取引の使用を禁止するか否かを選択します。

8. [取引キーファイル（取引2）]コマンド

取引キーファイル（取引2）設定を行います。

■取引名 (画面)

画面に表示する取引名を入力します。

■取引名 (印刷)

レシートに印刷する取引名を入力します。

■取引禁止指定

登録モードによって取引の使用を禁止するか否かを選択します。

■既定値

置数無しで取引キーを押したときの値を入力します。

■入力桁制限

当該取引で登録できる置数の最高桁数を入力します。0を入力した場合、桁数は無制限になります。

■置数オーバーライト不可

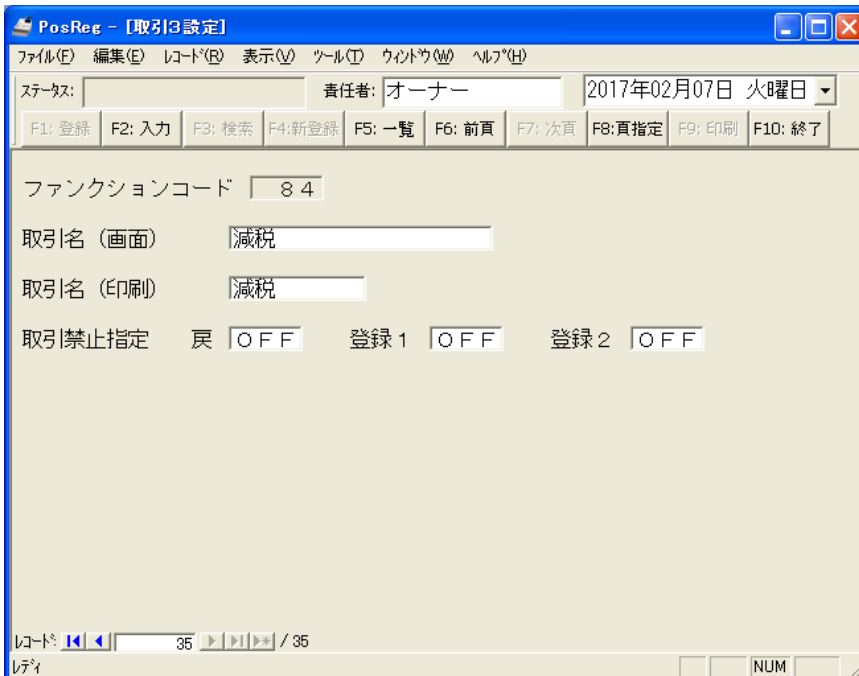
既定値を置数で置き換えることを許可するか否かを選択します。ONを選択した場合、置数を入力した後に当該取引キーを入力するとエラーになります。

■端数処理

取引対象金額から割引や割増しを計算するときに、小数点以下の端数処理方法を選択します。
端数処理には、切り捨て、四捨五入、切り上げがあります。

9. [合計器を持たないキー (取引3)]コマンド

合計器を持たないキー (取引3) 設定を行います。



■取引名 (画面)

画面に表示する取引名を入力します。

■取引名 (印刷)

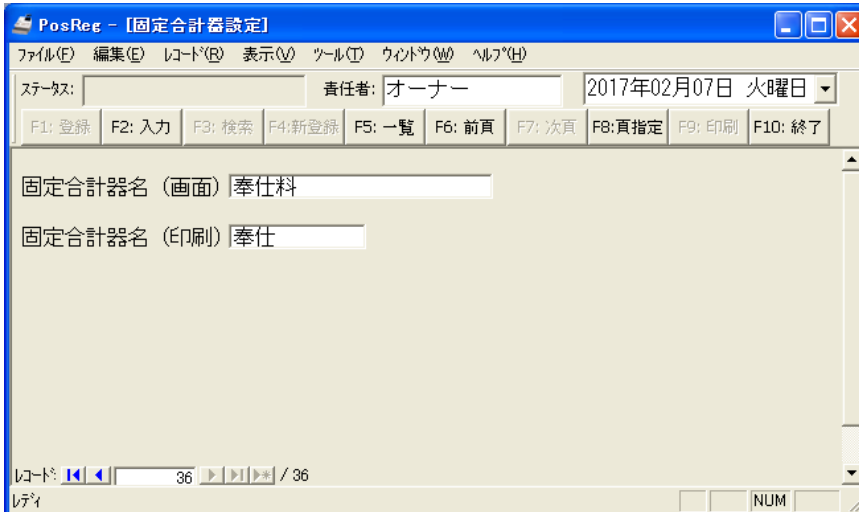
レシートに印刷する取引名を入力します。

■取引禁止指定

登録モードによって取引の使用を禁止するか否かを選択します。

1 0. [固定合計器設定]コマンド

固定合計器設定を行います。



■取引名 (画面)

画面に表示する固定合計器名を入力します。

■取引名 (印刷)

レシートに印刷する固定合計器名を入力します。

1 1. [レシートメッセージ設定]コマンド

レシートメッセージ設定を行います。(ロゴの使用については P9. 2. [全体] コマンドの印刷書式 **基本印刷** を参照)

レシートメッセージは、2. [全体] コマンドの印刷書式によって、印刷を行う場合と行わない場合があります。

また、使用するフォントや文字数は **ファイル (F)** → **印刷書式 (F)** から設定できます。

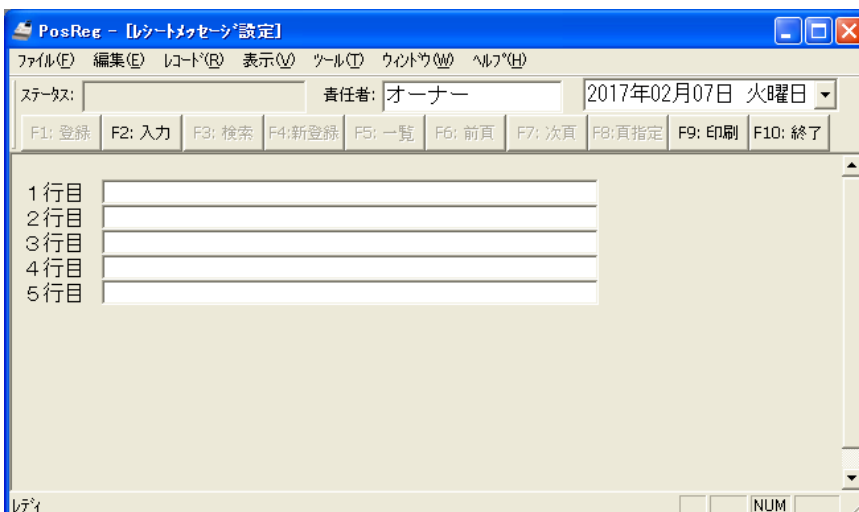
使用できる特殊機能文字には以下のような種類があります。

¥ n 改行を行います

¥ e 以降のメッセージを拡大文字 (横2倍角) で印字します

¥ f 以降のメッセージを標準に戻して印字します

特殊機能文字は半角で入力して下さい。特殊機能文字は印刷されません。



1 2. [2 段値札]コマンド

2 段値札設定を行います。

2 段値札は売り切れると、その商品が無くなってしまう様な場合に、多く使われます。

コード体系は JAN コードに準拠していますが、バーコードの中に部門リンクや価格情報を持つことができます。

1 3. [精算 - 全ファイル]コマンド

F10: 精算 で行う[8. 全ファイル]コマンドの設定を行います。

■ レポート種別

部門、PLU、グループ、担当者、取引関係、固定合計器、現金収支の中から、精算処理を行うレポート種別を、精算処理を行う順番に選択します。精算処理を行わないレポート種別はスキップを選択して下さい。

■ 印字禁止指定

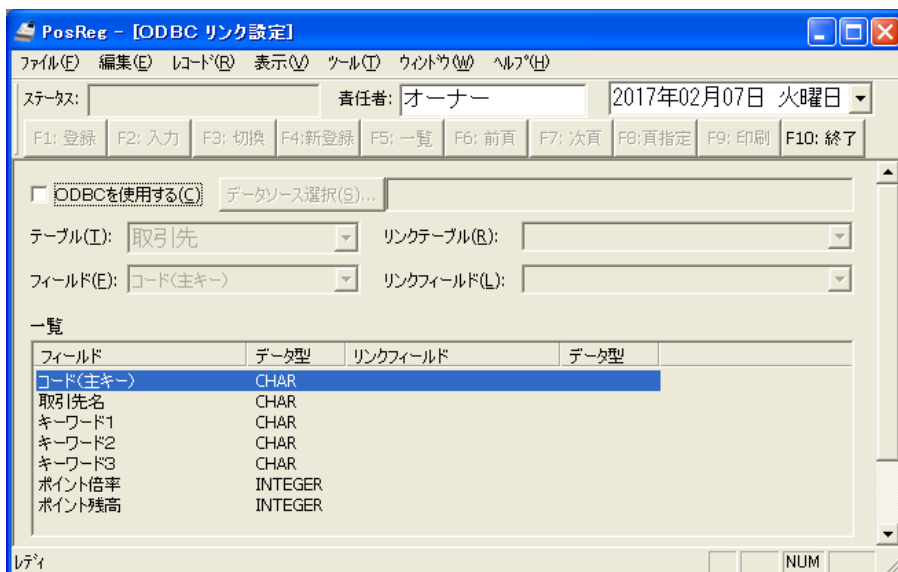
精算処理を行った後に、精算レポートの印刷を行わないときに ON を選択します。OFF を選択すると、レシートがオフになっていても、精算処理を行った後に、精算レポートの印刷を行います。

■ 2 回目印字指定

1 回目の精算レポートの印刷を行った後に、再度、精算レポートの印刷を行う場合に ON を選択します。ON を選択すると、印字禁止指定が ON になっていても、2 回目の精算レポートの印刷を行います。

1 4. [ODBC リンク設定]コマンド

ODBC リンク設定を行います。設定を行う前に、OS のデータソース設定を行って下さい。データソースの設定方法は、OS の説明書等を参照して下さい。



■ ODBC を使用する

ODBC リンクを行う場合にチェックします。

■ データソース選択

OS のデータソース設定で登録を行ったデータソース名を入力して下さい。データソース選択ボタンを押すと、登録を行ったデータソース名を、一覧から選択できます。

■ テーブル

ODBC データソースのテーブルとリンクする、PosReg テーブルを選択します。
リスト ボックスには、リンクできるテーブル名が一覧表示されます。

■ リンクテーブル

PosReg テーブルとリンクする、ODBC データソースのテーブルを選択します。
リスト ボックスには、リンクできるテーブル名が一覧表示されます。

■ フィールド

ODBC データソースのフィールドとリンクする、PosReg フィールドを選択します。
リスト ボックスには、選択したテーブルでリンクできるフィールド名が一覧表示されます。

■ リンクフィールド

PosReg フィールドとリンクする、ODBC データソースのフィールドを選択します。
リスト ボックスには、選択したリンクテーブルでリンクできるフィールド名が一覧表示されます。

■ 一覧

選択したテーブルのフィールドリンク状況を一覧表示します。できる限りデータ型を一致させるように、データソースを設定して下さい。データ型の変更は、使用するデータベースの説明書等を参照して下さい。

1 5. [ODBC 拡張設定]コマンド

ODBC 拡張設定を行います。

受注コードによる売上、自動受注登録、単品収集や精算テーブルの更新を行うときの既定値を設定します。

■ 設定

受注コードによる売上と JAN コードを区別するための数字と、受注番号を持つ位置に、対応する記号を入力します。設定できる記号には以下のような種類があります。設定記号は半角で入力して下さい。

S S.. S この位置の数字を受注番号として扱います。

■ チェック

当該受注コードのチェックコードを、JAN コードと同様にチェックする否かを選択します。

■ 印刷

当該受注コードをレシートに印刷するか否かを選択します。

■ 部門

受注リンクテーブルで、商品コードフィールドをリンクしていない場合や、商品リンクテーブルに該当する商品コードが見つからない場合に使用する部門リンクを入力します。

■ PLU コード

受注リンクテーブルで、商品コードフィールドをリンクしていない場合に使用する PLU コードを入力します。

■ 受注者番号

自動受注登録を行うときの、受注者番号の既定値を入力します。

■ 受注先コード

自動受注登録を行うときの、受注先コードの既定値を入力します。

■ 状況

自動受注登録を行うときの、状況の既定値を入力します。

■ 入荷日数

商品リンクテーブルで、標準入荷日数フィールドをリンクしていない場合に、自動受注登録を行うときの、希望納期の既定加算日数を入力します。

■ ストアID

単品収集と精算テーブルの更新を行うときの、ストア ID の既定値を入力します。

16. [取引先]コマンド

店舗独自でポイント販売（プリペイド）や売り上げの一部をポイント付与し、会計でポイントを使用できます。

■ コード

カード個別の番号（会員番号等）を入力します。

■ 名称

取引先や個人名、カード種別など、管理しやすい名称を入力します。コードのみで管理する場合は入力不要です。

■ ポイント残高

プリペイドカードの場合は販売したカードの残高を入力します。

ポイント加算式の場合は発行時には入力しません。会計時についたポイントが自動的に入力されます。

■ 付与ポイント

精算までの累計ポイントが表示されます。

■ ポイント倍率

取引先ごとのポイント倍率を入力します。

プリペイドカードの情報やカードごとのポイント倍率を設定すると、付与するポイント倍率を個別に計算できます。

基礎ポイントに、全体設定のポイント倍率と取引先のポイント倍率を乗算したものが、付与するポイントになります。

例えば、基本的に100円ごとに5ポイントを付けるショップで、シルバーランクのカードはポイントを3倍、ゴールドカードは5倍が付与されるように設定する場合に、2. [全体]コマンド (P9) のポイント単位に100、ポイント倍率に5、16. [取引先]コマンドでコードには会員番号を入力し、「名称：シルバーランク、ポイント倍率：300%」の設定と、「名称：ゴールドランク、ポイント倍率：500%」の設定をそれぞれ作成します。この設定で、ポイント対象の商品合計200円の買い物をした場合、シルバーランクで30ポイント、ゴールドランクで50ポイントが付与されます。

カードランクだけでなく、得意先など取引先別にポイント倍率を設定したい場合などにこのコマンドを応用できます。

※ 端数は切り捨てになります。

※ 付与したポイントは、固定合計器のみ値引き処理され、取引を精算した際に、ポイント残高に加算されます。

ポイント残高は、7. 締めキーファイル (取引1) (P17) のポイント使用で、置数がポイント残高から差し引かれ、

8. 取引キーファイル (取引2) (P17) のポイント (入金同様の扱い) で、置数がポイント残高に加算されます。

ODBCリンクを使用していない場合、取引先設定で、コード、名称、ポイント残高、付与ポイントやポイント倍率が設定できます。

2-4. レシートの書式設定

レシートを印刷するプリンタと、書式を設定します。

[ファイル (F)]メニュー → [印刷書式 (F)] の順で、[印刷書式設定]ウィンドウを表示します。

〔例〕手持ちのレシートプリンタを設定する。

①レシートプリンタ

印刷にしたいレシートプリンタ名を選択

②標準フォント

レシート印字に通常使用するフォントの種類を選択

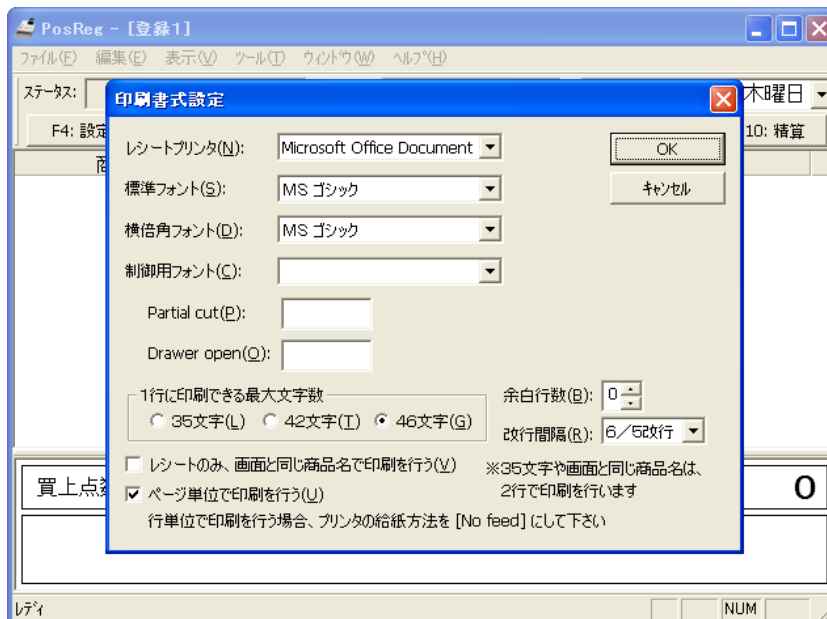
③横倍角フォント

合計金額など、標準フォントの横2倍で印刷するフォントの種類を選択

④1行に印刷できる最大文字数

手持ちのレシートプリンタで書式のずれがない文字数を選択

(35文字のみ58mm幅のレシートに対応)



※レシートプリンタ専用フォント以外のフォントを使用するときは、「標準フォント」と「横倍角フォント」は同じフォントを選択して下さい。

※[レシートのみ、画面と同じ商品名で印刷を行う (V)]にチェックをすると、レシートの商品情報を増やすことができます。その場合、画面の1行に対し、2行で印刷を行います。

※その他、各種の詳細設定はお手持ちのレシートプリンタに付属している説明書をご覧ください。

2-5. カスタマディスプレイの設定

カスタマディスプレイを使用する設定を行います。

[ツール (T)]メニュー → [周辺機器設定 (P)] の順で、[周辺機器設定]ウィンドウを表示します。

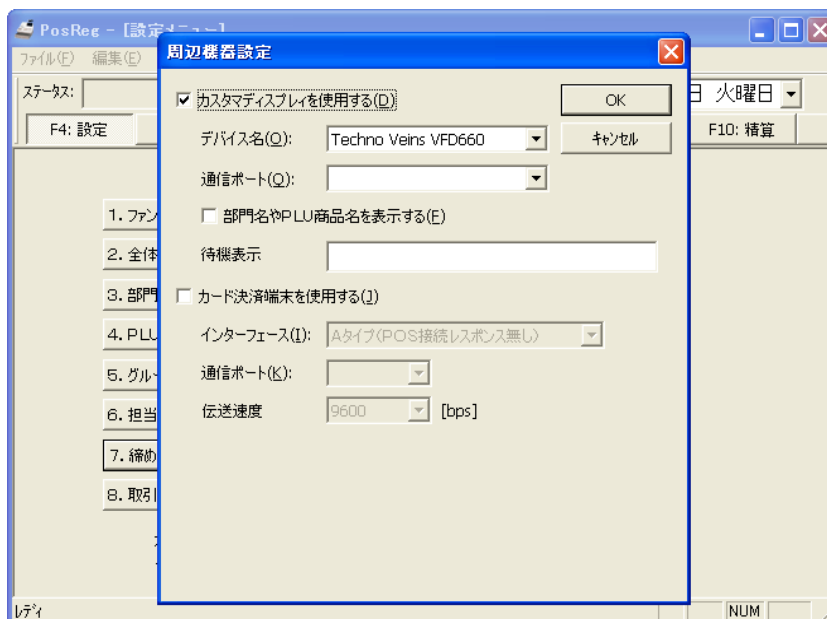
①カスタマディスプレイを使用する (D)

にチェックを入れる

②通信ポート (Q)

カスタマディスプレイを接続している通信ポートを選択

③OK



※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

またサブディスプレイウィンドウは、イメージを表示できます。

会計時にお知らせしたい内容や広告などを作成し、スライドショーにすることができます。

イメージを表示したい場合は、イメージファイル名に「CDxxx」（xxx：切り替え順番）を使用して下さい。

登録中のイメージは「CD0」、待機中は「CD0」以外から順番にイメージを切り替えて表示します。

待機中のイメージ切り替え時間は、デフォルトでは5秒ですが、変更したいときはイメージファイル名に「CDxxxSy」（y：秒数）を使用して下さい。

〔例〕 1 番目 5 秒表示：CD1、 3 番目 7 秒表示：CD3S7

※「CD」で始まるイメージファイルはインポートで縮小しませんので、サブディスプレイウィンドウに合ったサイズを準備して下さい。

①デバイス名 (O) でサブディスプレイウィンドウを選択

②表示モード (Q) を選択

・常に表示

画像と、下段の[待機表示]欄に入力した文字を常に表示する。

・待機表示を隠す

画像のみを表示する。

・待機中は非表示

待機中はサブディスプレイウィンドウには何も表示しない。

③OK

「毎度ありがとうございます」など、待機中に表示したい文字を入力

エプソン社のカスタマディスプレイに対応し、「DM-D30」か「DM-D110」を選択できます。

「DM-30」は日本語に対応していますので、印刷用の商品名に日本語が使用できます。

※「EPSON Advanced Printer Driver for DM-D」にのみ対応しています。

※カスタマディスプレイは、印刷用の商品名で表示します。

注) [部門名や PLU 商品名を表示する (F)] にチェックした場合、金額だけでなく、部門名や PLU 商品名を表示することができます。

部門名や PLU 商品名の表示には印刷用に漢字を利用できますが、漢字非対応ディスプレイではうまく表示されませんので、ご利用になるディスプレイの説明書をご確認の上、使用可能な文字にて入力して下さい。



登録中イメージ

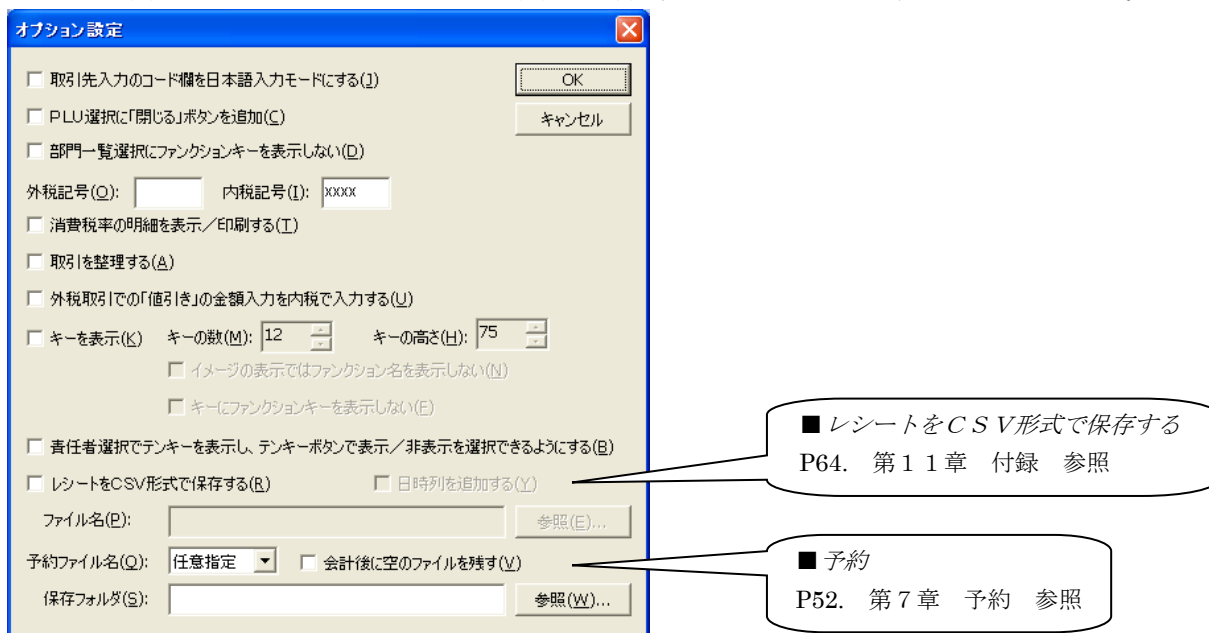


会計後イメージ

2-6. オプション設定

その他のオプションや環境の設定を行います。

[ツール (T)]メニュー → [オプション設定 (O)] の順で、[オプション設定]ウィンドウを表示します。



■ 外税記号・内税記号

「外税記号」と「内税記号」を追加し、表示/印刷で取引の消費税への対応を区別できます。

デフォルトは、外税は空白で、内税が「x」です。

各文字は、1文字目：基本消費税率、2文字目：消費税率1、3文字目：消費税率2、4文字目：消費税率3に対応します。

■ 消費税率の明細を表示/印刷する

「消費税率の明細を表示/印刷する」にチェックをすると、消費税率毎に課税額や消費税を表示/印刷できます。

デフォルトは、消費税率が異なっても、課税額や消費税は、合計したものを表示/印刷します。

■ 取引を整理する

「取引を整理する」にチェックをすると、同一項目については取引内容を1行にまとめます。

また取り消しについては取り消し行を挿入するのではなく、取引そのものを表示から消去します。

■ 外税取引での「値引き」の金額入力を内税で入力する

「外税取引での「値引き」の金額入力を内税で入力する」にチェックをすると、外税取引での値引きを、内税で入力できます。

外税取引で取引金額の端数を値引きする際、端数を直接入力できますが、金額や税率によっては、誤差が生じる場合があります。

■ キーを表示

チェックをすると、登録画面の上側にキーが表示され、タッチパネルやマウス操作で主な取引をすることができます。

また、ファンクションキーの参照 (図 2-6.1) としても利用できます。

キーは6列固定ですが、行の高さとキーの総数を設定できます。

キーの位置は、ファンクションキーレイアウトで、1桁の列番号と2桁の行番号で設定して下さい。

〔例〕左上隅：101，右上隅601

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

イメージ（画像）を表示したい場合は、イメージファイル名に「KEYxxx」（xxx：キーの位置）を使用してください。

〔例〕左上隅：KEY101，右上隅：KEY601

※イメージ表示ではファンクションキーの名称を非表示にでき、キーにファンクションキーを非表示にできます。

（図 2-6.2）

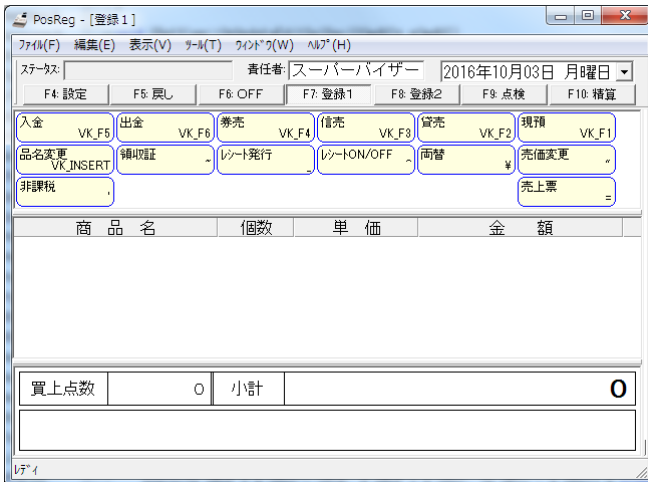


図 2-6.1 ファンクションキーの参照例



図 2-6.2 イメージ表示例

■ 責任者選択でテンキーを表示し、テンキーボタンで表示/非表示を選択できるようにする

〔責任者選択でテンキーを表示し、テンキーボタンで表示/非表示を選択できるようにする（B）〕にチェックをすると、起動時の暗証番号入力や会計時の数字を、画面に表示したテンキーで入力できるようになります。

責任者名を「▲」ボタンと「▼」ボタンで選択できます。（図 2-6.3）

また、テンキーボタンを表示し、テンキーの表示をON/OFFできるようになります。

画面上のテンキーは、タッチパネル対応です。（図 2-6.4）



図 2-6.3 責任者選択画面

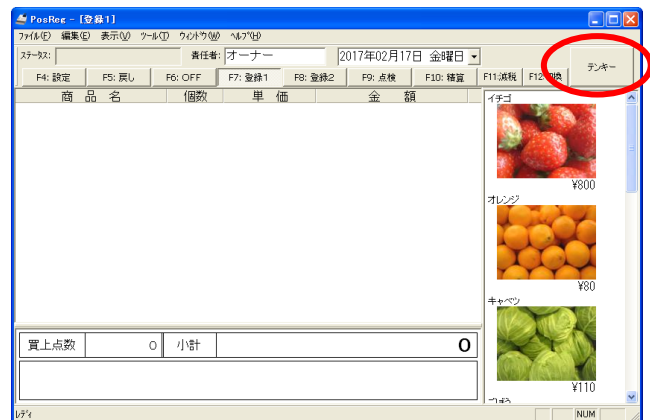


図 2-6.4 テンキーボタン位置

第3章 担当者登録

F4: 設定 → **6. 担当者** の順で、[担当者設定]ウィンドウを表示します。

〔例〕新しく山田花子を担当者に登録する。

①担当者名（画面）

パソコン上の表示に使う担当者名を入力

②担当者名（印刷）

レシートに印字したときに使う担当者名を入力

③担当者番号

社員番号等の任意の担当者番号を入力（重複した番号は不可）

④登録権

参照権のみ

登録内容の閲覧のみ許可します。（商品等の登録内容の変更や、新規追加はできません）

登録権のみ

登録内容の変更を許可します。（商品等の新規追加はできません）

新規登録権

すべての操作を許可します。

※参照権のみでもレジを打つことはできます。

⑤機能使用禁止指定

禁止したい機能がある場合は該当する項目を **OFF** にします。

⑥ **F1: 登録**

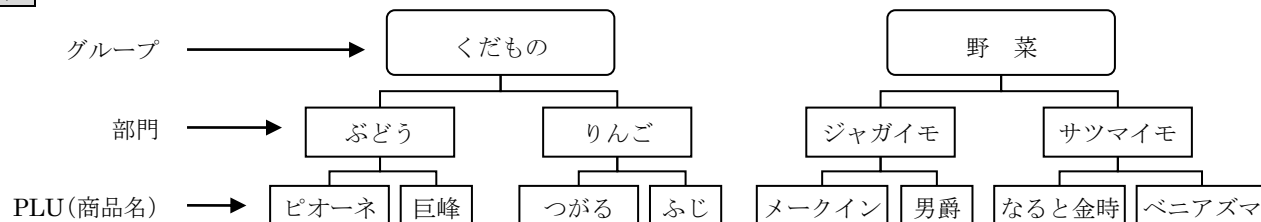
※続けて登録する際は、**▶*** をクリックし、新規作成画面で①～⑥を繰り返します。

⑦ **F10: 終了**

第4章 商品登録

商品は大分類、小分類に分けることができます。大分類をグループ、小分類を部門と呼びます。

図1



4-1. グループ登録

F4:設定 → 5.グループ の順で、[グループ設定]ウィンドウを表示します。

大分類となるグループ名を登録します。スーパーなどでは「青果」「鮮魚」「雑貨」等に設定することもできます。使用状況に合わせて自由に設定してください。

〔例〕グループ名を「くだもの」にする。

①グループ名 (画面)

パソコン上の表示に使うグループ名を入力

②グループ名 (印刷)

レシートに印字したときに使うグループ名を入力

③グループ番号

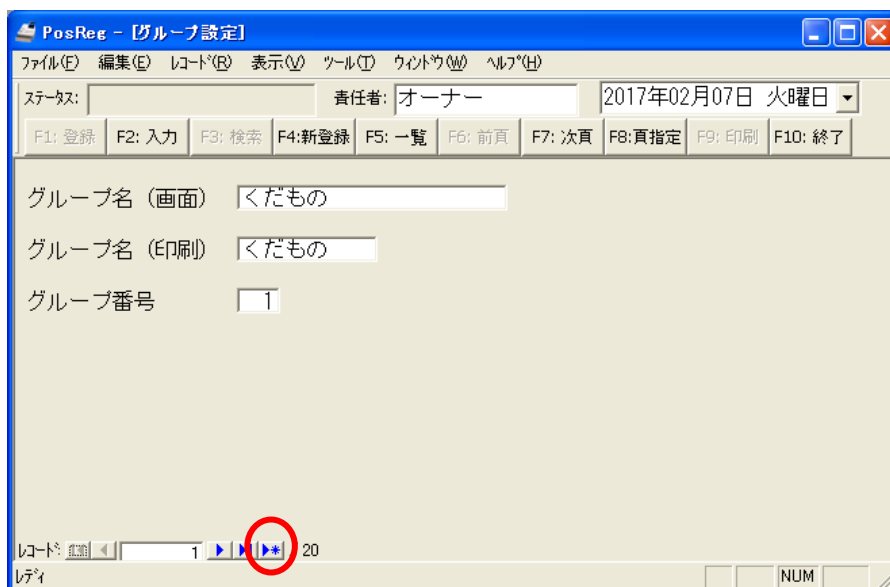
任意のグループ番号を入力

※グループ番号は4-2. 部門登録 で部門とリンクさせる際に使用

④ F1:登録

※続けて登録する際は、▶* をクリックし、新規作成画面で①～④を繰り返します。

⑤ F10:終了



4-2. 部門登録

F4: 設定 → **3. 部門** の順で、[部門設定]ウィンドウを表示します。

〔例〕部門に「イチゴ」を登録する。

①部門名（画面）

パソコン上の表示に使う部門名を入力

②部門名（印刷）

レシートに印字したときに使う部門名を入力

③部門番号

任意の部門番号を入力

※部門番号は次ページの4-3.

PLU 登録 で PLU とリンクさせる際に使用

④グループリンク

枠内をダブルクリックすると、登録済みのグループ一覧が表示されます。所属するグループをダブルクリックで選択すると、グループ番号が入力されます。

⑤部門一覧選択


OFF PLU 商品部門一覧選択のリストから除外されます

ON 売り上げ登録時に部門一覧選択のリストに表示されます

※すべての部門の部門一覧選択を OFF にすると、リストは表示されますが、一覧からの売上登録はできません（エラー）

⑥単価

登録中の部門の単価を入力します。

※登録中の部門がさらに詳細（PLU）に分類される場合は、単価は詳細（PLU）登録の際に入力しますので、ここでは入力しないでください。…前ページ  参照

⑦入力桁制限


売り上げ登録時に入力できる桁数を制限したい場合は桁数を入力します。

⑧置数オーバーライト不可

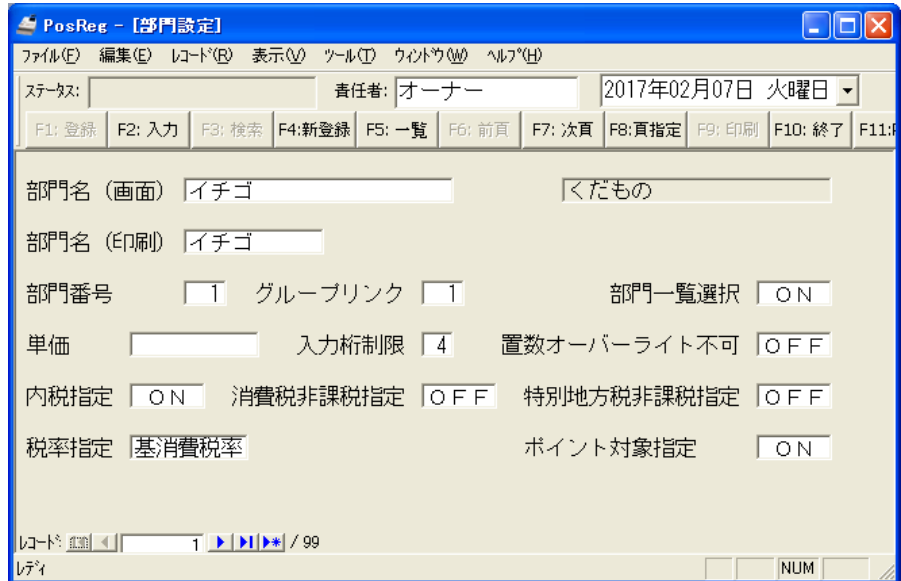
OFF 売り上げ登録時に売価を変更可能にします

ON 売り上げ登録時に売価を変更不可にします

⑨ **F1: 登録**

※続けて登録する際は、 をクリックし、新規作成画面で①～⑨を繰り返します。

⑩ **F10: 終了**



4-3. PLU 商品登録

F4: 設定 → **4. PLU**

の順で、[PLU 設定]ウィンドウを表示します。

〔例〕PLU 商品に「あまおう」を登録する。

①PLU 商品名 (画面)

パソコン上の表示に使う部門名
を入力

②PLU 商品名 (印刷)

レシートに印字したときに使う
部門名を入力

③PLU コード※

登録する商品のバーコードに付
いている数字を入力します。

④部門リンク

枠内をダブルクリックすると、
登録済みの部門一覧が表示され
ます。所属する部門をダブルク
リックで選択すると、部門番号
が入力されます。

⑤部門一覧表示順番

売上登録時の部門一覧選択画面での表示順を指定する場合は番号を入力します。

⑥単価

登録中の PLU 商品の単価を入力します。

⑦入力桁制限

売り上げ登録時に入力できる桁数を制限したい場合は桁数を入力します。

⑧置数オーバーライト不可

OFF 売り上げ登録時に売価を変更可能にします

ON 売り上げ登録時に売価を変更不可にします

⑨ **F1: 登録**

※続けて登録する際は、**F4** をクリックし、新規作成画面で①～⑨を繰り返します。

⑩ **F10: 終了**

※ ③PLU コードについて

PLU コードを空欄のまま登録、または2文字入力で項目の移動を行うと、残りのコードを自動付加します。

PLU コードを入力する場合、最後の桁がチェックデジットになっています。

コードの打ち間違いをチェックするために必要不可欠ですが、インスタアコードを新規作成するときに、13桁目で“C”キーを押すと自動付加します。

4-4. 商品画像登録

PosReg では、売り上げ登録時に商品の写真から視覚的に商品を選ぶことができます。

各商品の写真は、デジタルカメラ等で撮影し、あらかじめ準備しておいてください。

写真のファイル名は、その商品の部門番号、または PLU コードの数字にする必要があります。

〔例〕「イチゴ」部門（部門番号＝1）の写真のファイル名 → 1.jpg

「イチゴ M サイズ」（PLU コード例＝4900000000001）の写真のファイル名 → 4900000000001.jpg

撮影した画像は、ひとつのフォルダにまとめておいてください。

※説明では、付属の八百屋サンプル用の画像を使用しています。

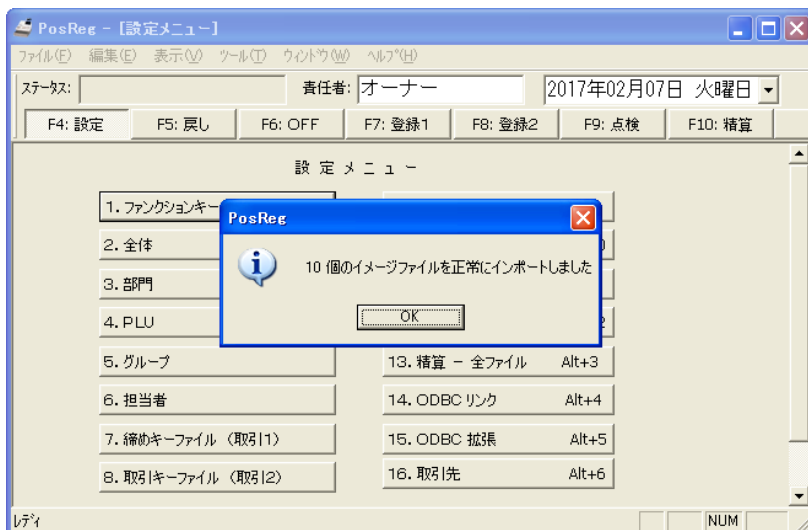
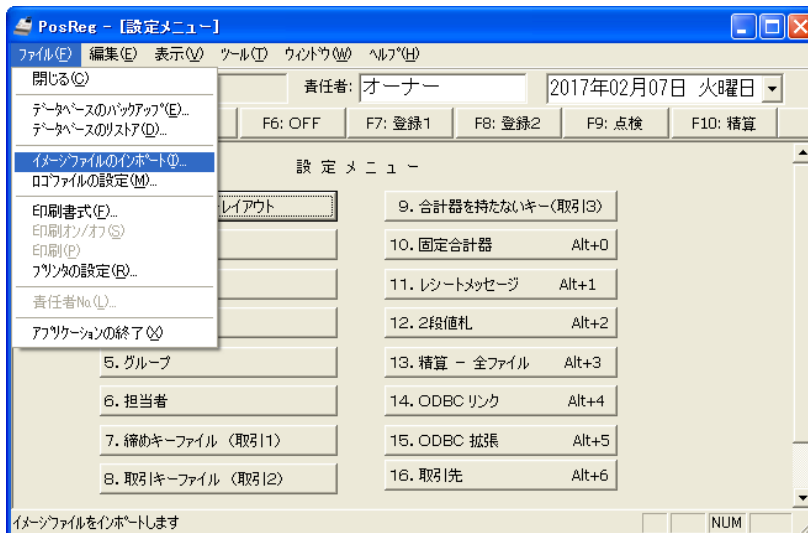
〔例〕八百屋サンプル用の画像を登録する。

①〔ファイル〕メニュー → [イメージファイルのインポート]

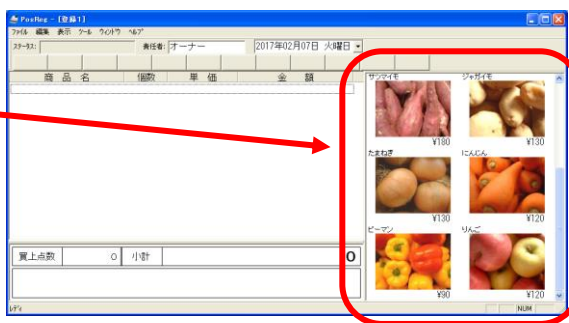
②画像が保存してあるフォルダを指定する → **OK**

※以下は八百屋サンプルの場合

C → Program Files → PATOK
→ PosReg → Samples → Image1



インポートが完了すると、売り上げ登録の画面で、ウィンドウ右の部門選択画面が写真に変わります。



※画像（イメージ）のサイズ変更に対応しています。

“ツール (T)” メニューから “イメージサイズ変更” を選択し、イメージサイズを設定して下さい。

ただし、文字がはみ出すため、既定値 (133 × 100 pixel) よりも小さくすることはできません。

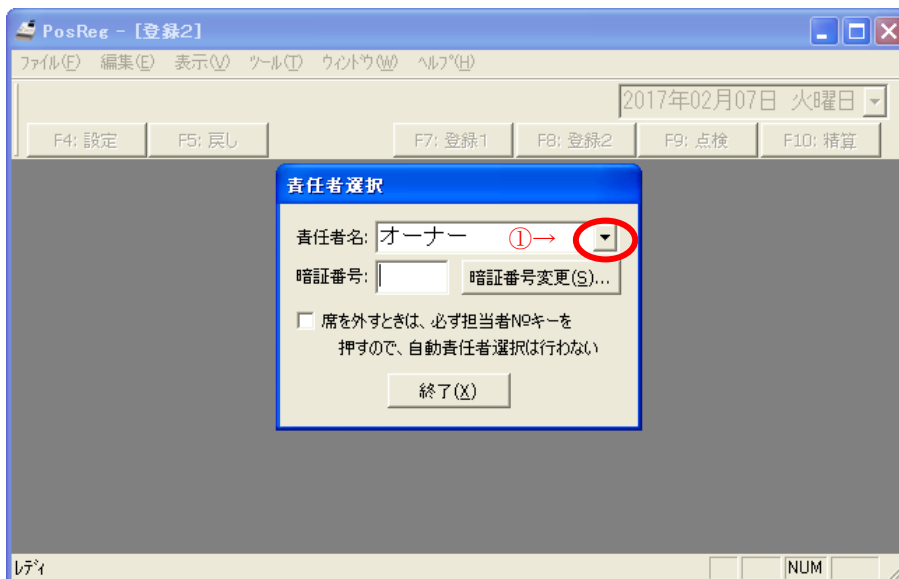
第5章 売上登録（通常登録）

5-1. レジ担当者の登録

Pos Reg を起動すると、レジ責任者選択の画面が現れます。

- ① リストボタンをクリックし、担当者を選択します。
- ② **Enter** キーを押して登録画面にします。

※暗証番号が設定してある場合は暗証番号を入力します。
暗証番号は、担当者自身がこの画面の **暗証番号変更(S)...** ボタンで作成、変更できます。



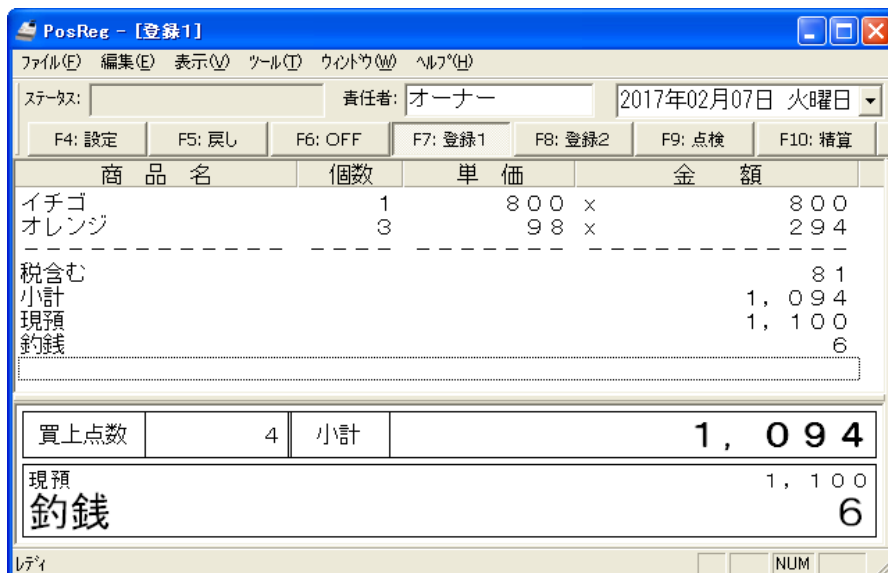
5-2. レジ責任者の変更

- ① **Shift** + **?** キーを押すと、レジ責任者選択の画面が現れます。
- ② リストボタンをクリックし、担当者を選択します。
- ③ **Enter** キーで登録画面に戻ります。

5-3. 金額入力による売上登録

〔例〕800円のイチゴと98円のオレンジ3個を売り上げ、客から1,100円預った。

- ① 800 **A**
- ② 3 * 98 **B**
- ③ 1100 **F1**
(00は **.** キーでも入力可)

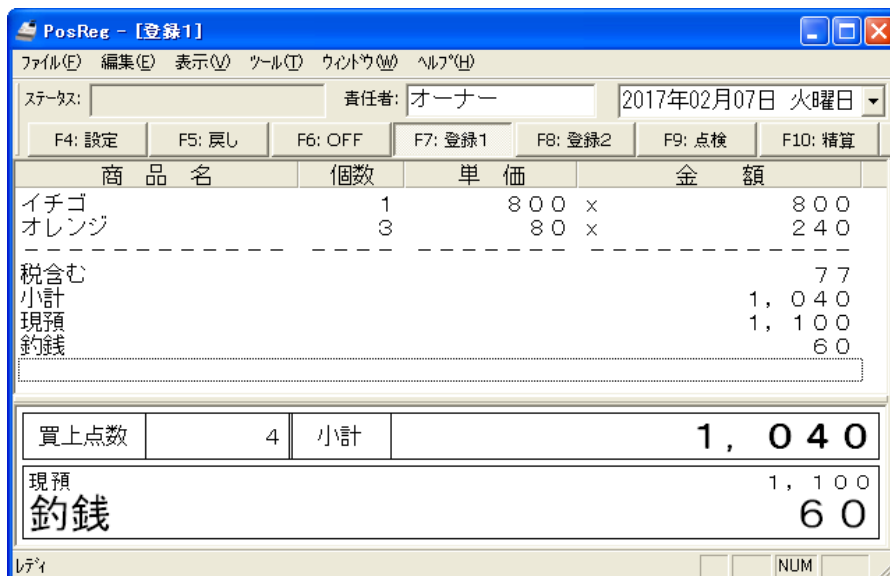


※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

5-4. 部門に単価が登録してある場合の売上登録

〔例〕イチゴ（部門に 800 円で登録済み）とオレンジ（部門に 98 円で登録済み）3 個を売り上げ、客から 1,100 円預った。

- ①
- ② 3 *
- ③ 1 1 0 0
(00はキーでも入力可)



5-5. 画像を使って売上登録（部門）

〔例〕イチゴ（部門に 800 円で登録済み）とオレンジ（部門に 98 円で登録済み）3 個を売り上げ、客から 1,100 円預った。

- ① イチゴ画像選択
- ② 3 * オレンジ画像選択
- ③ 部門一覧選択ウィンドウを閉じる
※ダブルクリックでも閉じます
- ④ 1 1 0 0
(00はキーでも入力可)



①, ② 画像選択ウィンドウ

※部門一覧選択のウィンドウはキー以外に、[登録1]ウィンドウ内で右クリックをしても表示することができます。

※複数の商品を登録する場合は、 と入力すると、[登録1]ウィンドウ内に個数が登録されます。その後、該当の商品画像を選択してください。

※[登録1]ウィンドウの右端にも表示されています。

※ウィンドウは当該設定にかかわらず、「F10」キーで閉じることができます。

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

5-6. 画像を使って売上登録 (PLU)

PLU 登録を利用したい場合は、その部門の単価は入力しないで下さい。部門の単価が入力されていると、部門が優先されてしまいます。(P30.4-2. 部門登録 参照)

単価の設定は PLU 商品登録で行ってください。(P31.4-3. PLU 商品登録 参照)

〔例〕メイクイン (ジャガイモ) 3個を売り上げ、客から 1,100 円預った。

① 3 * **+** ジャガイモ画像選択

※部門選択後、PLU が登録されていれば、PLU 選択画面ウィンドウが出ます

②メイクイン選択

③PLU 選択ウィンドウを閉じる

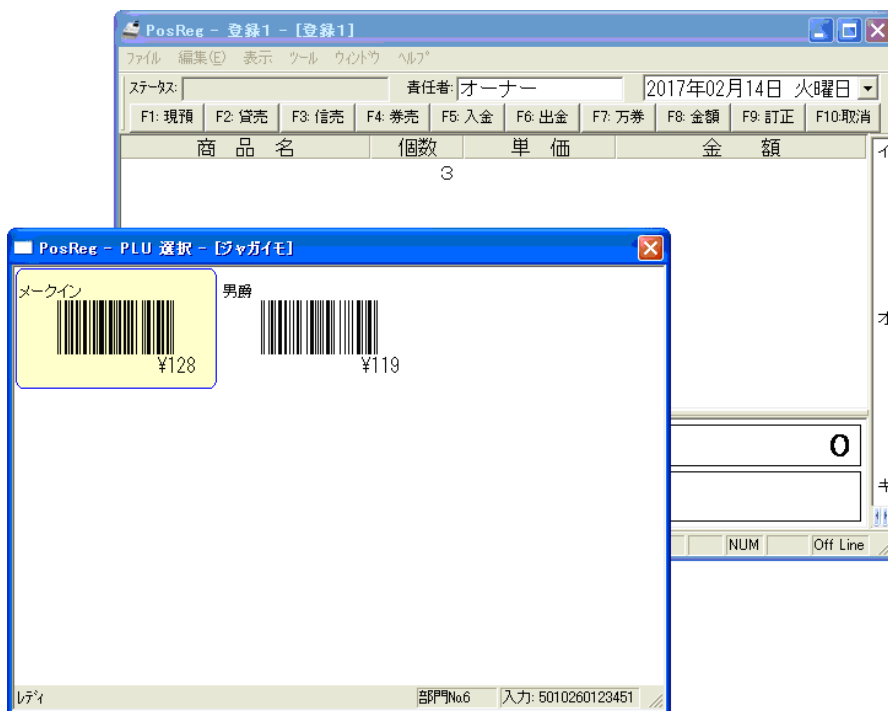
※ダブルクリックでも閉じます

④ 1 1 0 0 **F1**

(00は**.**キーでも入力可)

※部門一覧選択のウィンドウは**+**キー以外に、[登録1]ウィンドウ内で右クリックをしても表示することができます。

※複数の商品を登録する場合は、**個数** * と入力すると、[登録1]ウィンドウ内に個数が登録されます。その後、該当の商品画像を選択してください。



※[登録1]ウィンドウの右端にも表示されています。

※ウィンドウは当該設定にかかわらず、「F10」キーで閉じることができます。

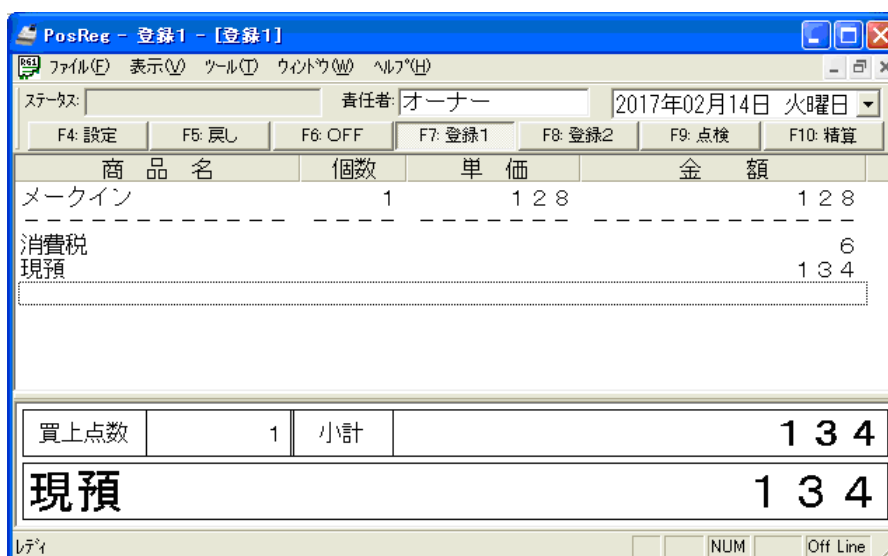
5-7. スキャナでバーコードを読み取る場合の売上登録

〔例〕メイクイン (ジャガイモ) をスキャナで読み取り売り上げ、客から 134 円ちょうど預った。

①バーコード読み取り

②**F1**

※バーコードはその数字をキーボードから入力し、**Enter**キーを押すことで直接入力することもできます。



5-8. 値引き・値増しの方法

〔例1〕単品からの場合（値引き）

イチゴ1パックとオレンジ3個を売り上げ、イチゴを100円値引きして、客から1,000円預った。

- ①
 - ② 100
 - ③ 3 *
 - ④ 1000
- （00は \square キーでも入力可）

※②の \square キーは値引きの場合。
・値増しの場合… $\text{Alt} + \square$

The screenshot shows the 'PosReg - 登録1 - [登録1]' window. The date is 2017年02月14日 火曜日. The user is 'オーナー'. The interface shows a list of items: 1 pack of strawberries (800) and 3 oranges (98). A discount of 100 is applied to the strawberries. The total amount is 994. The current payment is 1,000, and the change is 6.

商品名	個数	単価	金額
イチゴ	1	800 x	800
値引き (-)		x	-100
オレンジ	3	98 x	294

税含む			47
小計			994
現預			1,000
釣銭			6

買上点数	4	小計	994
------	---	----	-----

現預	1,000
釣銭	6

〔例2〕合計からの場合（値引き）

イチゴ1パックとオレンジ3個を売り上げ、合計から200円値引きして、客から1,000円預った。

- ①
 - ② 3 *
 - ③ (小計)
 - ④ 200
 - ⑤ 1000
- （00は \square キーでも入力可）

※④の \square キーは値引きの場合。
・値増しの場合… $\text{Alt} + \square$

The screenshot shows the 'PosReg - 登録1 - [登録1]' window. The date is 2017年02月14日 火曜日. The user is 'オーナー'. The interface shows a list of items: 1 pack of strawberries (800) and 3 oranges (98). A discount of 200 is applied to the total. The total amount is 894. The current payment is 1,000, and the change is 106.

商品名	個数	単価	金額
イチゴ	1	800 x	800
オレンジ	3	98 x	294
小計		x	1,094
値引き (-)		x	-200

税含む			42
小計			894
現預			1,000
釣銭			106

買上点数	4	小計	894
------	---	----	-----

現預	1,000
釣銭	106

5-9. 割引き・割増しの方法

〔例1〕単品からの場合（割引き）

イチゴ1パックとオレンジ3個を売り上げ、イチゴを10%割引きして、客から1,100円預った。

- ① **A**
- ② 1 0
- ③ 3 * **B**
- ④ 1 1 0 0 **F1**
(00はキーでも入力可)

※②のキーは割引きの場合。
・割増しの場合… **Alt** +

商品名	個数	単価	金額
イチゴ	1	800 x	800
割引引き (%)		-10% x	-80
オレンジ	3	98 x	294

税含む			48
小計			1,014
現預			1,100
釣銭			86

買上点数	4	小計	1,014
現預			1,100
釣銭			86

〔例2〕合計からの場合（割引き）

イチゴ1パックとオレンジ3個を売り上げ、合計から20%割引きして、客から1,000円預った。

- ① **A**
- ② 3 * **B**
- ③ **Space** (小計)
- ④ 2 0
- ⑤ 1 0 0 0 **F1**
(00はキーでも入力可)

※④のキーは割引きの場合。
・割増しの場合… **Alt** +

商品名	個数	単価	金額
イチゴ	1	800 x	800
オレンジ	3	98 x	294
小計		x	1,094
割引引き (%)		-20% x	-218

税含む			41
小計			876
現預			1,000
釣銭			124

買上点数	4	小計	876
現預			1,000
釣銭			124

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

5-10. 信用売りとして売上登録

〔例1〕イチゴ10パックを信用売りとして売り上げた。

- ① 10 * A
- ② F3

PosReg - 登録1 - [登録1]

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月14日 火曜日

F4: 設定 F5: 戻し F6: OFF F7: 登録1 F8: 登録2 F9: 点検 F10: 精算

商品名	個数	単価	金額
イチゴ	10	800 x	8,000
税含む			380
信売			8,000

買上点数 10 小計 8,000

信売 8,000

NUM Off Line

〔例2〕イチゴ10パックを売り上げ、2,000円は現金で、残り6,000円を信用売りで分割登録した。

- ① 10 * A
- ② 2000 F1
- ③ F3

PosReg - 登録1 - [登録1]

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月14日 火曜日

F4: 設定 F5: 戻し F6: OFF F7: 登録1 F8: 登録2 F9: 点検 F10: 精算

商品名	個数	単価	金額
イチゴ	10	800 x	8,000
税含む			380
小計			8,000
現預			2,000
信売			6,000

買上点数 10 小計 8,000

信売 6,000

NUM Off Line

5-11. ポイントを利用して売上登録

ポイントを利用する場合は、事前に取引先の登録が必要になります。(P23.16. [取引先] コマンド 参照)

〔例1〕イチゴ2パックをすべてポイントを利用して売り上げた。

① 2 * **A**

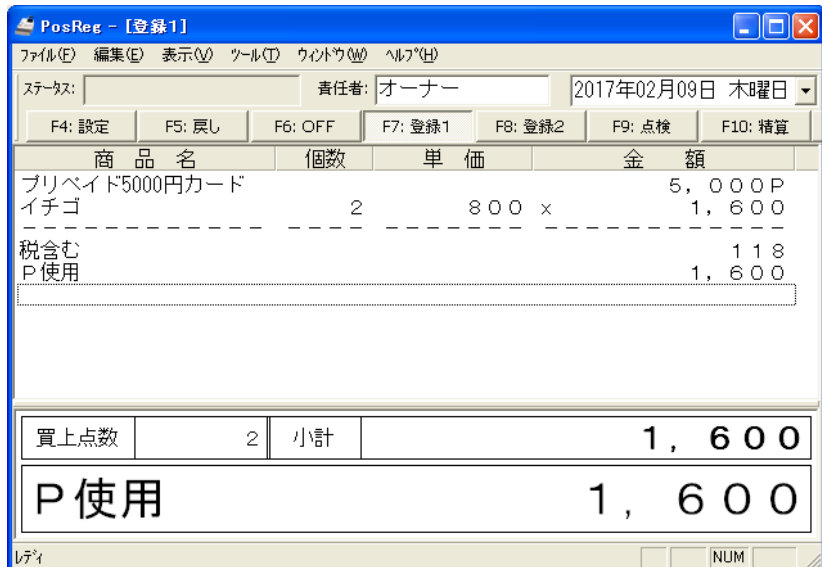
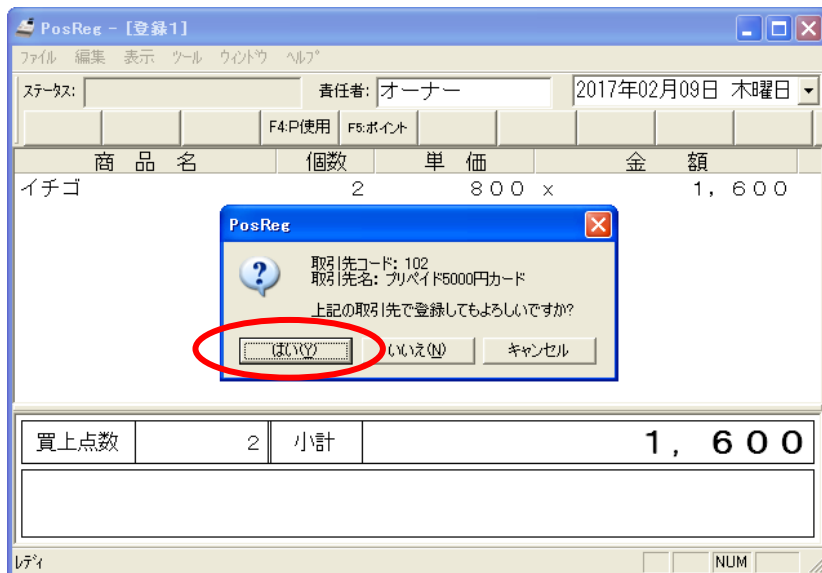
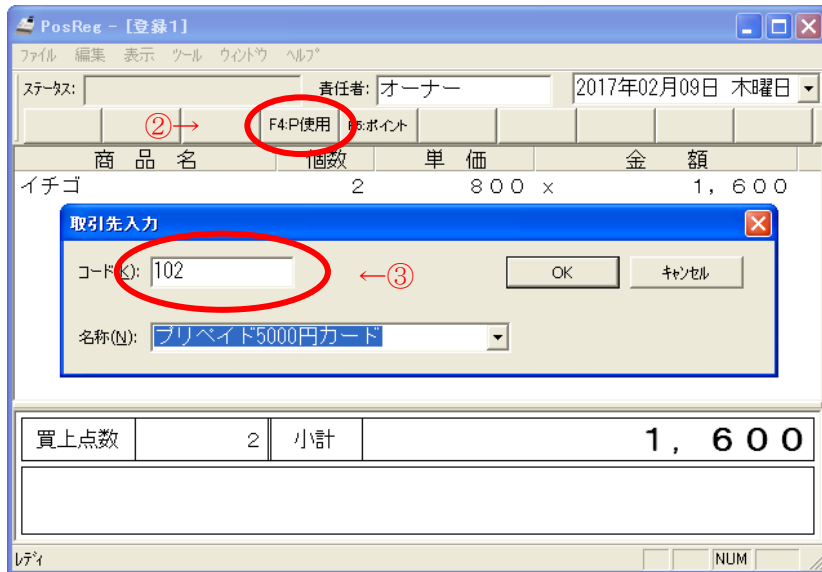
② **Shift** 押しながら **F4**

③ 取引先設定 (P21) で登録した
使用するカードのコードを入力

※取引先の入力取引中のどのタ
イミングでも可能です。

Shift キーを押すと、**F11** が
減税 キーから **取引先** キーに、**F4**
と **F5** はそれぞれポイントに関
するキーに変わります。

④ **Enter**

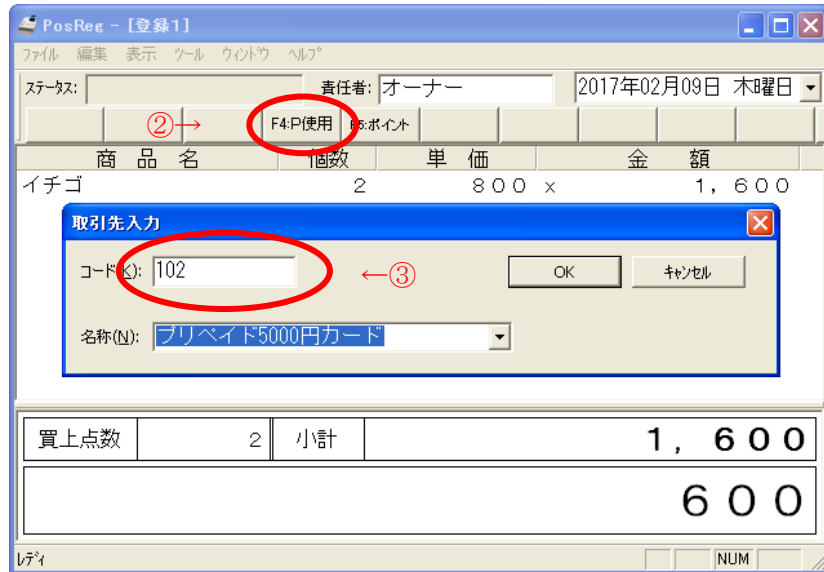


※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

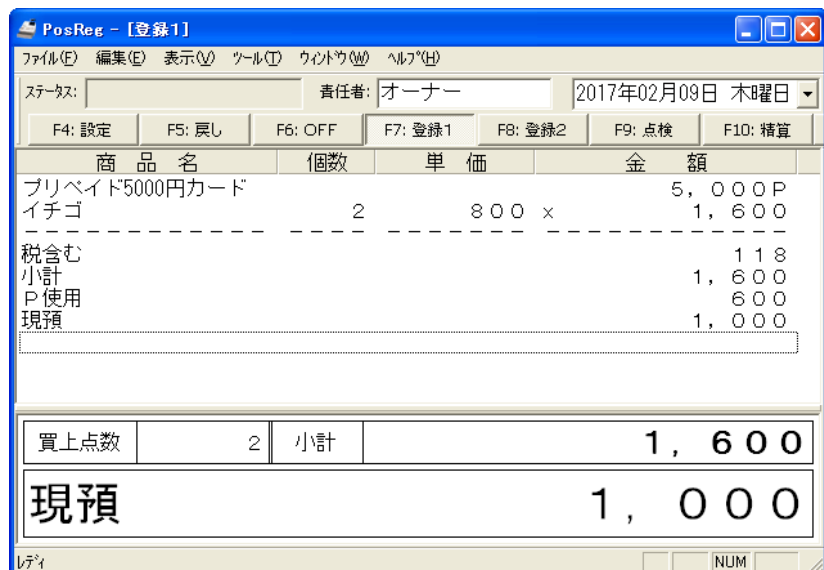
〔例2〕イチゴ2パックをポイント600円分利用、残金を現金で売り上げた。

※**Shift**キーを押すと、**F11**が**減税**キーから**取引先**キーに、**F4**と**F5**はそれぞれポイントに関するキーに変わります。

- ① 2 * **A**
- ② 6 0 0 **Shift** 押しながら **F4**
- ③ [取引先]コマンド (P23) で登録した使用するカードのコードを入力
- ④ **Enter**



- ⑤ **F1**



※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

5-12. ポイント販売

〔例1〕新規で5000円分のプリペイドカードを現金販売した。

※**Shift**キーを押すと、**F11**が**減税**キーから**取引先**キーに、**F4**と**F5**はそれぞれポイントに関するキーに変わります。

- ① 5000 **Shift** 押しながら
F5

PosReg - [登録1]
ファイル 編集 表示 ツール ウィンドウ ヘルプ
ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月09日 木曜日
F4:P使用 F5:ポイント
商品名 個数 単価 金額
買上点数 0 小計 0
5000
レタ NUM

- ② コード (カード番号や管理番号)
を入力し、**OK**
※名称(N)は、必要なければ入力
不要

PosReg - [登録1]
ファイル 編集 表示 ツール ウィンドウ ヘルプ
ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月09日 木曜日
F4:P使用 F5:ポイント
商品名 個数 単価 金額
取引先入力
コード(N): 107 OK キャンセル
名称(N):
買上点数 0 小計 0
5000
レタ NUM

PosReg - [登録1]
ファイル 編集 表示 ツール ウィンドウ ヘルプ
ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月09日 木曜日
F4:P使用 F5:ポイント
商品名 個数 単価 金額
PosReg
取引先コード: 107
取引先名:
上記の取引先で登録してもよろしいですか?
はい(Y) いいえ(N) キャンセル
買上点数 0 小計 0
5000
レタ NUM

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

③ F1

PosReg - [登録1]

ファイル 編集 表示 ツール ウィンドウ ヘルプ

ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月09日 木曜日

F1: 現預 F2: 貸売 F3: 信売 F4: 券売 F5: 入金 F6: 出金 F7: 万券 F8: 金額 F9: 訂正 F10: 取消

商品名	個数	単価	金額
ポイント	1	5,000	5,000
買上点数			1
小計			5,000

NUM

※カードの販売価格と使用できるポイント数が異なる場合（5000円の支払いで5500ポイントが使用できる等）や、ポイント倍率などの設定が必要な場合は、登録後に下記の設定から変更してください。

PosReg - [登録1]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ステータス: 責任者: オーナー 2017年02月09日 木曜日

F4: 設定 F5: 戻し F6: OFF F7: 登録1 F8: 登録2 F9: 点検 F10: 精算

商品名	個数	単価	金額
ポイント	1	5,000	5,000
現預			5,000
買上点数			1
小計			5,000
現預			5,000

NUM

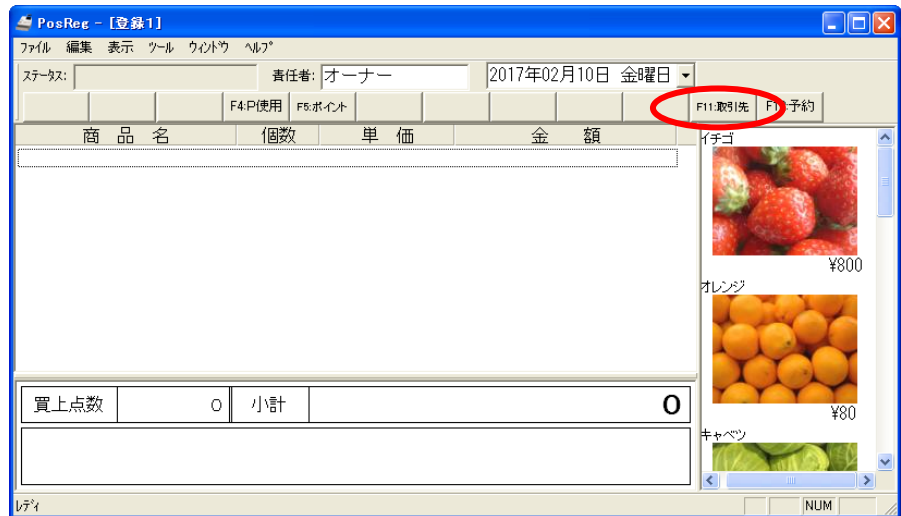
F4: 設定 → 16. 取引先

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

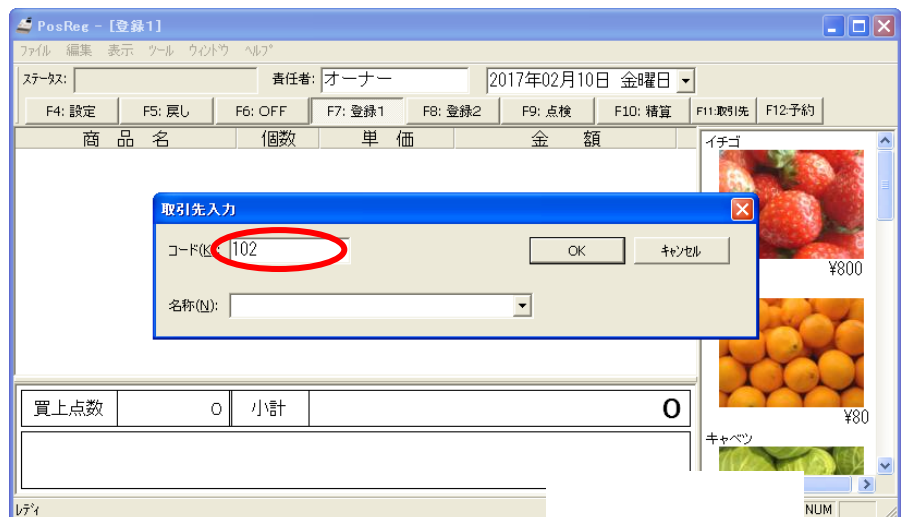
〔例2〕使用中のカードに3000ポイントを現金でチャージした。

※**Shift**キーを押すと、**F11**が**減税**キーから**取引先**キーに、**F4**と**F5**はそれぞれポイントに関するキーに変わります。

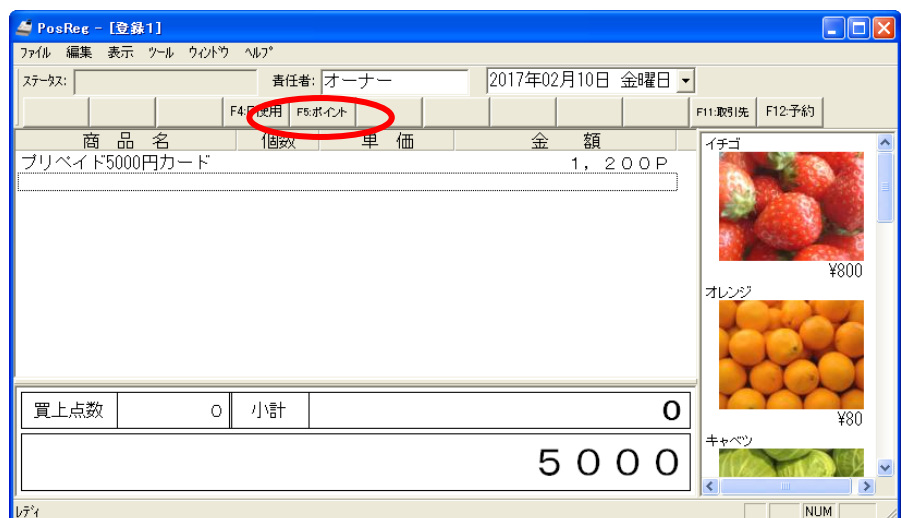
①**Shift** 押しながら **F11**



②コード(カード番号や管理番号)を入力し、**OK**



③5000 * **Shift** 押しながら **F5**



※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

④ F11

商品名	個数	単価	金額
プライベート5000円カード			1,200P
ポイント	1	5,000	5,000
-----			-----
現預			5,000

買上点数	1	小計	5,000
現預			5,000

※取引開始時の1200ポイントが、取引先設定画面では5000ポイントが加算され、6200ポイントになっているのが確認できます。

コード

名称

ポイント残高

付与ポイント

ポイント倍率 %

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

5-13. 入金・出金・両替の方法

〔例1〕10,000円の入金があった場合

① 10000 **F5**

※**F7**キー(万券キー)でも10,000円を入力できます。

The screenshot shows the 'PosReg - 登録1 - [登録1]' window. The status bar indicates '2017年02月14日 火曜日'. The main table has one row: '入金' (Cash Receipt) with a '金額' (Amount) of '10,000'. The bottom summary section shows '買上点数' (Purchase Count) as '0', '小計' (Subtotal) as '10,000', and a large display of '10000'.

商品名	個数	単価	金額
入金			10,000

買上点数	0	小計	10,000
			10000

〔例2〕20,000円の出金があった場合

① 20000 **F6**

※**F7**キー(万券キー)でも10,000円を入力できます。

The screenshot shows the 'PosReg - 登録1 - [登録1]' window. The status bar indicates '2017年02月14日 火曜日'. The main table has one row: '出金' (Cash Payment) with a '金額' (Amount) of '-20,000'. The bottom summary section shows '買上点数' (Purchase Count) as '0', '小計' (Subtotal) as '-20,000', and a large display of '20000'.

商品名	個数	単価	金額
出金			-20,000

買上点数	0	小計	-20,000
			20000

〔例3〕両替があった場合

① **F7**

The screenshot shows the 'PosReg - 登録1 - [登録1]' window. The status bar indicates '2017年02月14日 火曜日'. The main table has one row: '両替' (Bill Exchange) with a '金額' (Amount) of '0'. The bottom summary section shows '買上点数' (Purchase Count) as '0', '小計' (Subtotal) as '0', and a large display of '0'.

商品名	個数	単価	金額
両替			0




買上点数	0	小計	0
			0

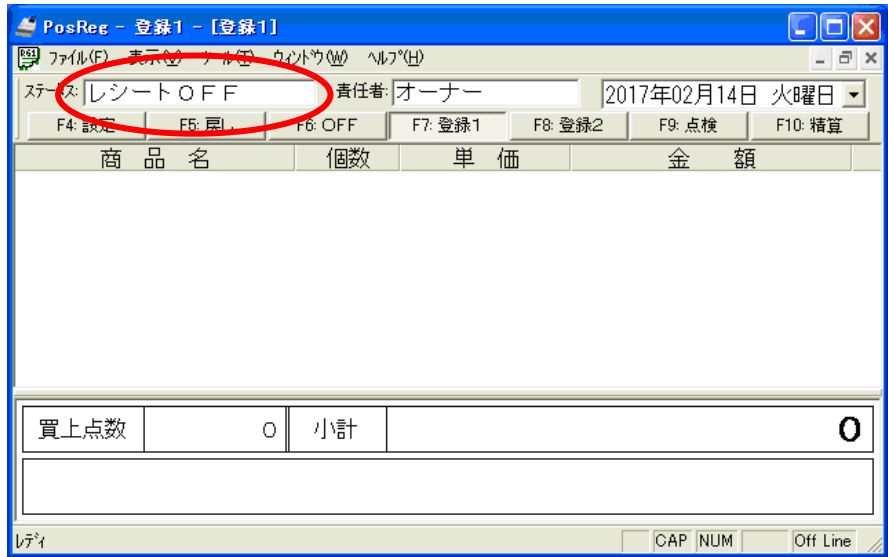
※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

5-14. レシートオン・オフの切り替え方法

初期設定では、レシートオン（発行）になっています。発行／停止の切り替えは取引開始前に行ってください。


〔例〕レシートオン／オフの切り替え

- ①  レシート停止
(レシートOFFが表示されます)
- ②  レシート発行
- ③  レシート停止
(レシートOFFが表示されます)







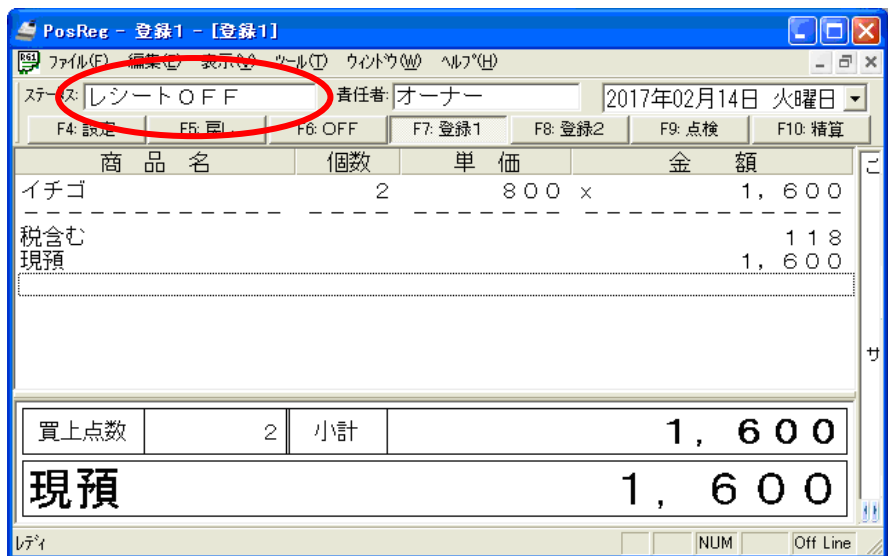
※画面上を右クリックして、メニューからオン／オフを切り替えることもできます。

5-15. レシート発行の方法

レシートの発行を停止している状態でも、売上登録時に **Shift** +  キーを押すと、以下のレシート発行を1回だけ行います。

〔例〕

- ① 2 *  } イチゴ購入
- ② 
- ③  + 



お買上票				
毎度ありがとうございます				
			2017年 2月14日(火)	
イチゴ	2X	@800x	¥1,600	
税含む			¥118	
現預			¥1,600	
担当者01	2点	REG1	10:50	00001

5-16. 領収証発行の方法

レシート発行後、**Shift** + **〜**キーを押すと、その登録の領収証を発行することができます。

〔例〕

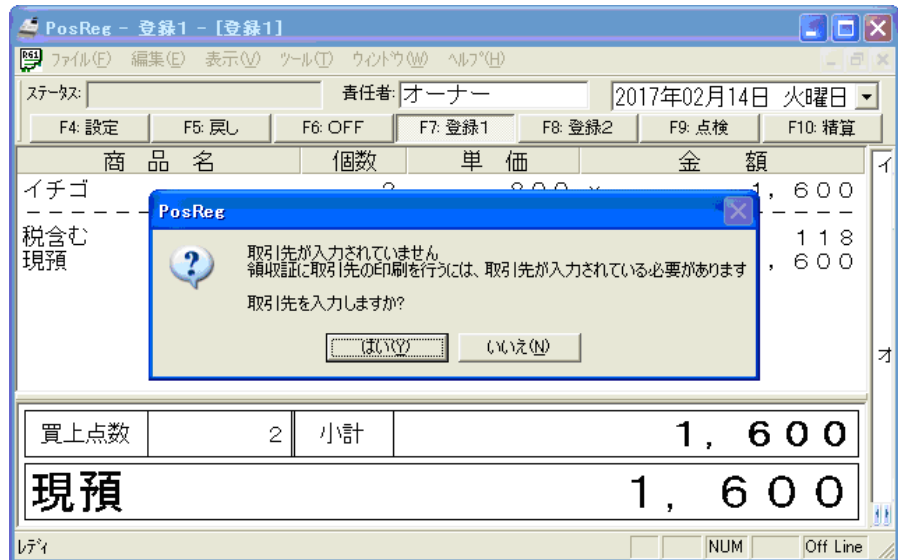
- ① 2 * **A** } イチゴ購入
- ② **F1**

- ③ **Shift** + **〜**

- ④ 取引先入力の設定がされていないと、右のようなメッセージが表示されます。

領収証に宛名（取引先）が必要な場合は**はい(Y)**を選択します。

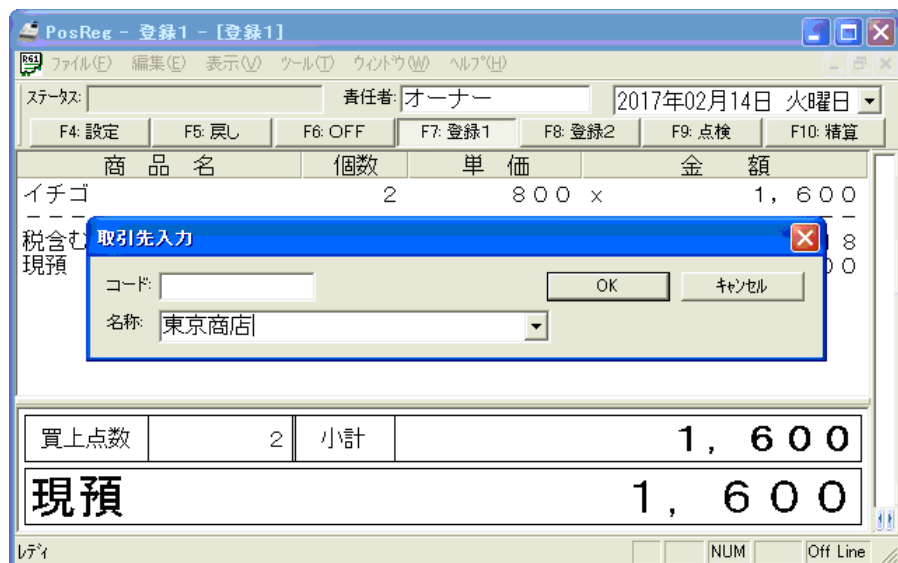
※取引先入力については16. [取引先]コマンド (P23) 参照



※領収証の形式は3種類あります。

I. 宛名（取引先）を印字する

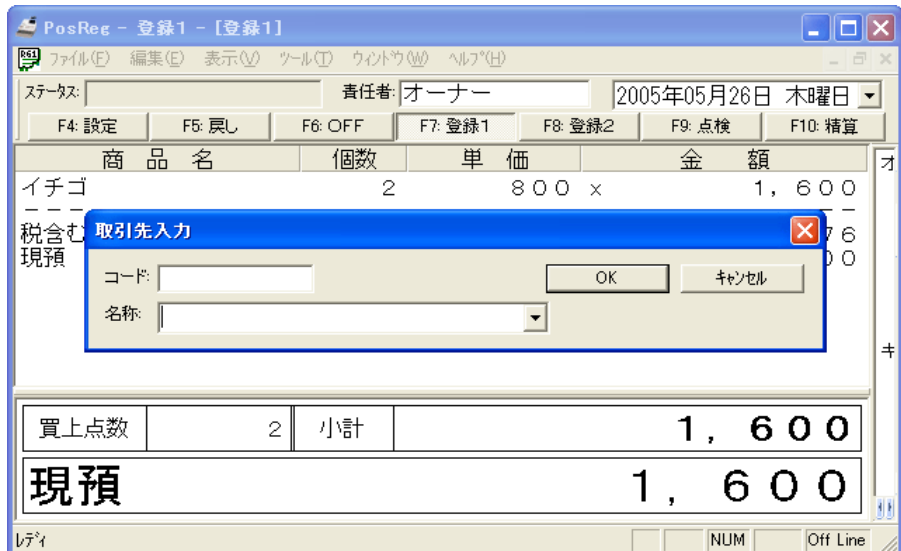
- ① 〔例〕の確認画面で**はい(Y)**を選択
- ② 右の[取引先入力]画面の[名称]欄に宛名（取引先）を入力する→**OK**



※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

II. 宛名（取引先）を手書きするため、空欄の宛名欄を印刷する

- ① 〔例〕の確認画面で「はい(Y)」を選択
- ② 右の[取引先入力]画面には何も入力しない→OK



III. 宛名（取引先）欄を印刷しない

- ① 〔例〕の確認画面で「いいえ(N)」を選択



第6章 訂正・変更・戻し処理

6-1. エラーメッセージの解除

数字の入力欄に表示されるすべてのエラーメッセージは、**[Esc]**キーを押すことで解除できます。

6-2. 入力中の訂正

金額や個数をまちがえて入力した時は、**[Delete]**キーを押して訂正します。

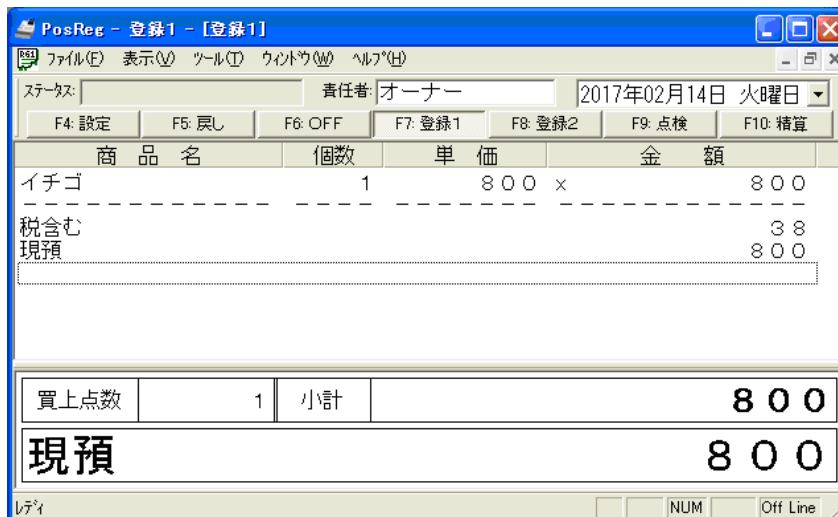
〔例〕800円のイチゴを、間違って700円と入力した

- ① 700 (間違った金額)
- ② **[Delete]**キー
- ③ 800 (正しい金額)
- ④ **[A]**
- ⑤ **[F1]**

※1文字訂正の場合は**[BackSpace]**キーで訂正できます。

※行確定後の訂正は下記6-3または6-4に記載の方法で行います。

(**[Delete]**キーではできません)



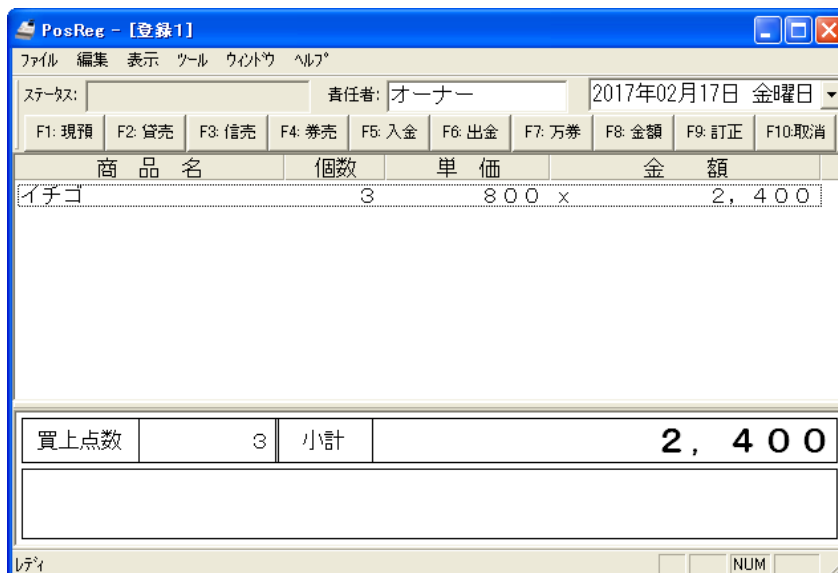
6-3. 個数の変更

同じ商品が複数ある場合、通常は先に個数を入力して商品登録を行います。商品登録後に個数を変更することもできます。

〔例1〕イチゴの数を1個から3個に変更する。

- ① **[A]**
- ② * 3 (正しい個数)

元の個数1が消え、正しい個数に変更されました。



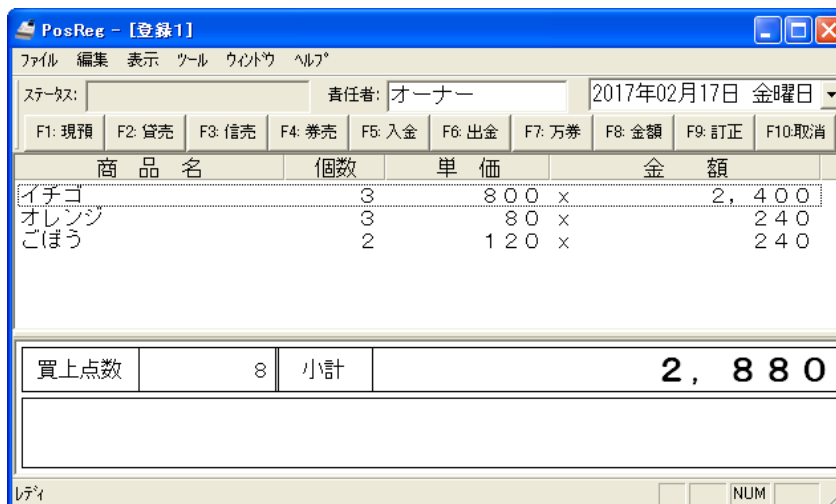
※直前の行を訂正する場合は、カーソルの移動は必要ありません。

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

〔例2〕数行入力した後で、イチゴの数を1個から3個に変更する。

- ①カーソルをイチゴに合わせる
- ②* 3 (正しい個数)

元の個数1が消え、正しい個数に変更されました。



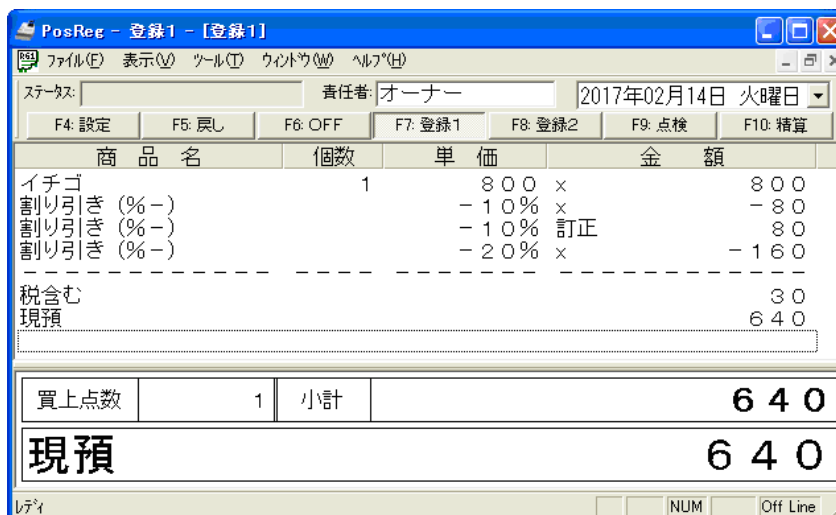
6-4. 入力確定後の訂正

部門キー、値引きキー、割引キーなどのキーを押した後にまちがいに気づいた時は、訂正キー (F9) で訂正を行います。

〔例1〕イチゴの割引きを10%から20%に訂正する

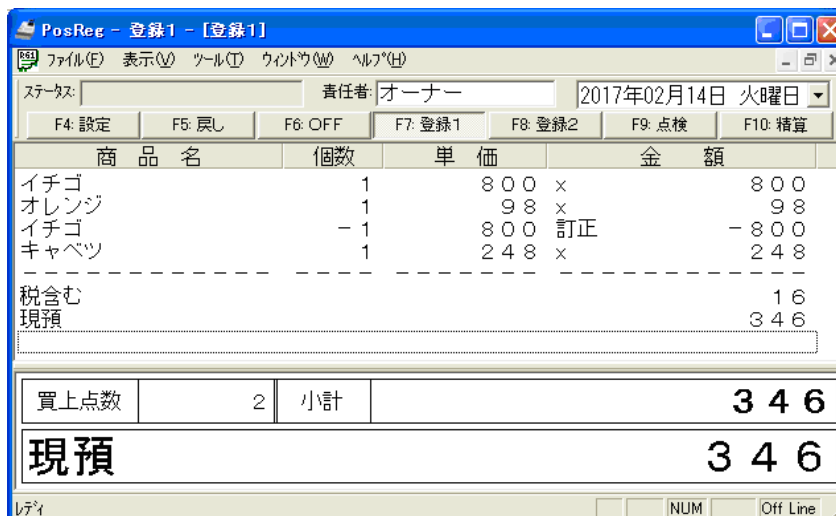
- ①[A]
- ②10 (間違った割引)
- ③[F9]
- ④20 (正しい割引)
- ⑤[F1]

※ツール→オプション設定より「取引を整理する」にチェックがある場合、訂正行は表示されず、直前の取引が消去されます。(P26.2-6. オプション設定)



〔例2〕イチゴ、オレンジの順で登録した後、キャベツを誤ってイチゴと登録していたことに気づいた

- ①[A] (間違った部門)
- ②[B]
- ③↑ ↑ (イチゴの行を選択)
- ④[F9]
- ⑤[C] (正しい部門)
- ⑥[F1]



※会計前の取引は [F10] (取消) キーですべて消去できます。

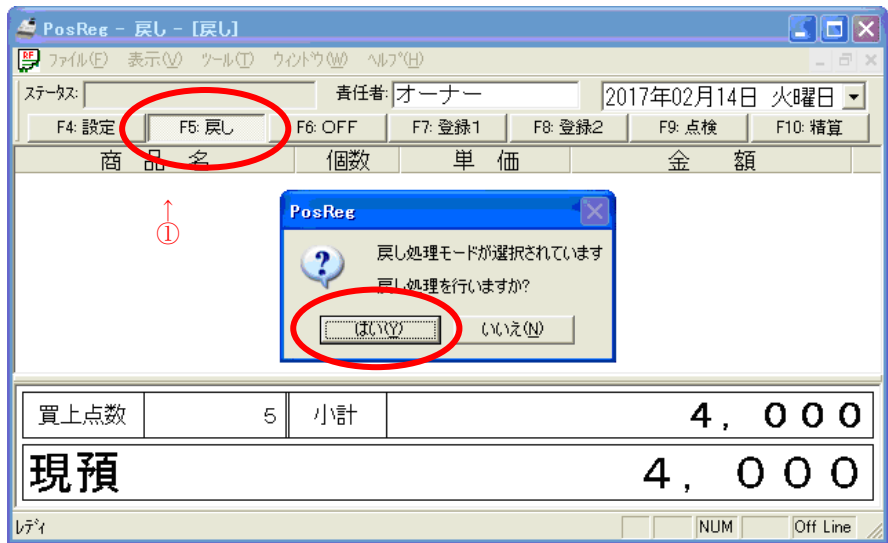
6-5. 取引終了後の訂正（戻し処理の方法）

戻し処理は、取引終了後に品物の返品が発生した場合の戻し登録・訂正を行うものです。

〔例〕イチゴを5パック返品する

① **F5**（戻し画面）

※入力開始のときに右図のような確認メッセージが出ますので、**はい(Y)**を選択してください。

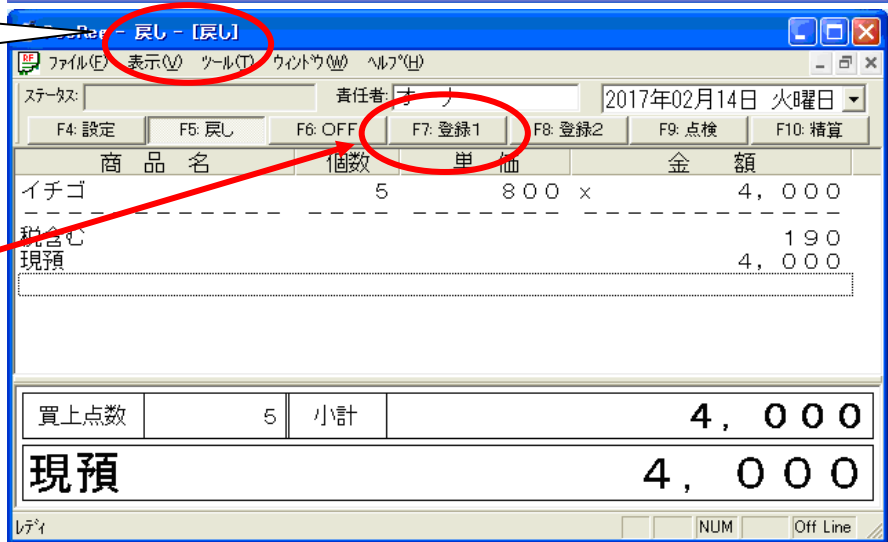


[戻し]になっていることを確認

② 5 * **A**

③ **F1**

※戻し処理終了後は **F7: 登録1** (**F7**) を押して、必ず登録モードに戻してください。



第7章 予約

電話等で注文を受けた際、あらかじめ注文内容を登録し予約を行うことで、商品引渡し時の会計がスムーズになります。あるいは、テーブル番号を利用して注文を予約として登録を行うと、飲食店などでも PosReg をご利用いただけます。登録内容はファイルに保存し、保存したファイルを開くことで、随時追加訂正や会計が可能です。

ファイルの保存先にネットワークフォルダを指定することで、ほかの端末で登録された保存ファイルを、即座に会計できます。

通常価格とは異なる取引や、商品入荷後の支払いにも活用していただける機能です。

〔ツール〕→〔オプション設定〕の〔予約ファイル名〕に、「任意指定」と、「02」、「20」～「29」の選択があり、処理が異なります。

7-1. 任意指定（デフォルト）

予約時に、保存するファイル名を入力または、既存のファイル名を選択します。

予約票を印刷する場合は、印刷することで予約が完了します。

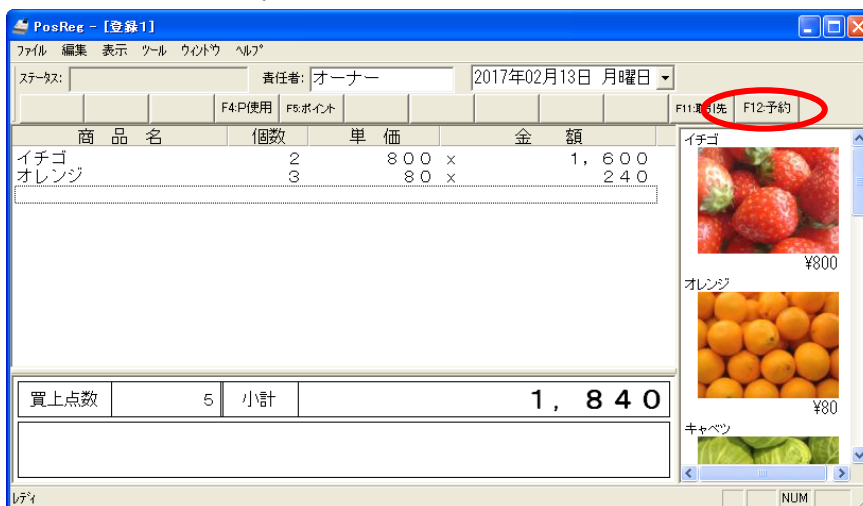
デフォルトでは、会計後に保存したファイルは削除しますが、空のファイルを残すこともできます。

テーブル番号や常連客名を保存ファイル名にするときは、空のファイルを残すことで予約がよりスムーズになります。

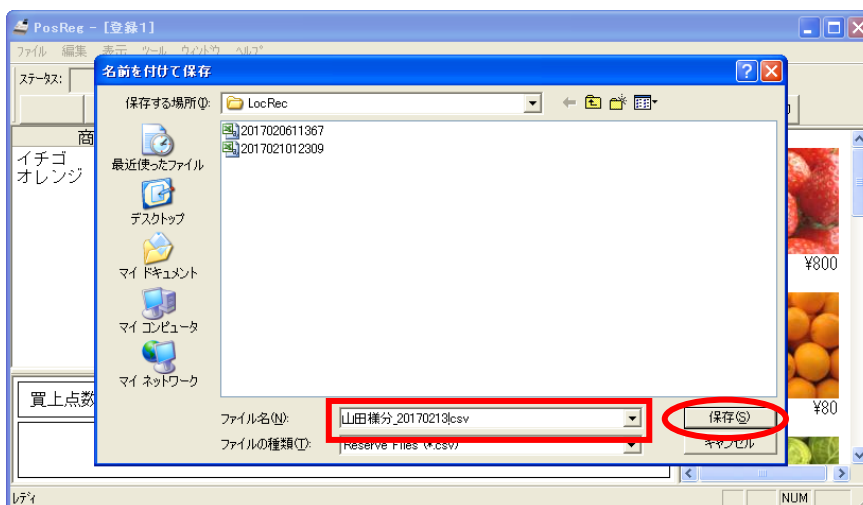
〔ツール〕→〔オプション設定〕の〔会計後に空のファイルを残す〕にチェック

〔例〕イチゴ2個とオレンジ3個の予約を山田様から受けた。

- ① 2 * **A**
- ② 3 * **B**
- ③ **Shift** 押しながら **F12**



- ④ 任意の名前を付けて保存



※通常は保存した時点で予約が完了となりますが、予約票のプリントはされません。予約票が必要な場合は **Shift** 押しながら **Print** (印刷のショートカットキー) で印刷と同時に予約が完了します。

デフォルトではショートカットキーで操作を行いますが、ファンクションキーレイアウトで印刷ボタンを表示すると、画面上で印刷操作を行えるようになります。(P8. 1. [ファンクションキーレイアウト]コマンド 参照)

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

7-2. 「02」, 「20」～「29」

保存するファイル名が、選択した2文字と年月日時分のJANコードで自動生成され、登録内容にバーコードを付加して印刷を行います。

印刷されたバーコードをスキャンすることで、保存したファイルを開くことができます。

開いたファイルは、重複を防ぐために開くと同時に削除されます。

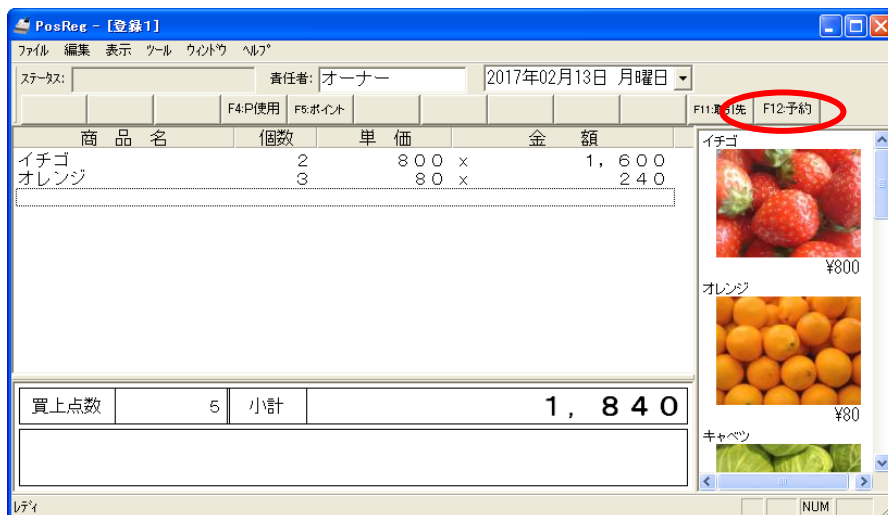
※「レシートOFF」の設定でも予約票の印刷を行います。

※選択した2文字が、PLUコードと重複しないようにする必要があります。

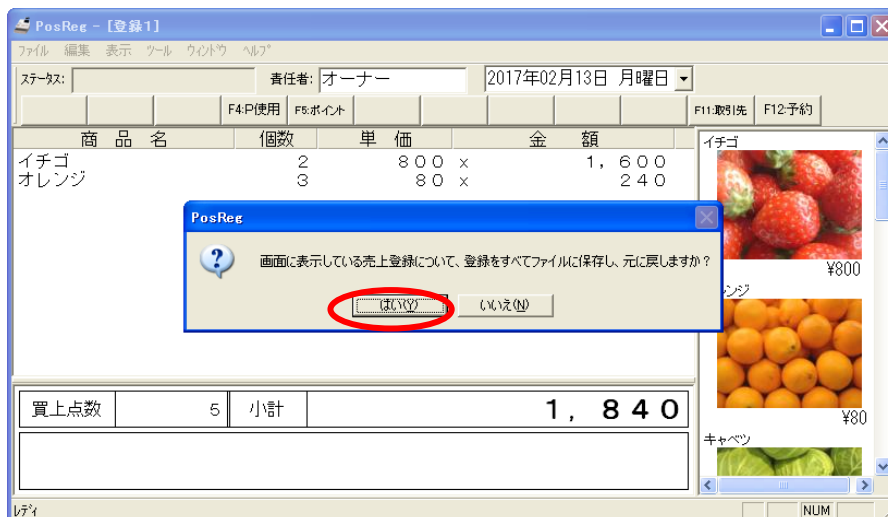
ツール→オプション設定の〔予約ファイル名〕で「02」, 「20」～「29」を選択します。

〔例〕イチゴ2個とオレンジ3個の予約を受け、予約票（バーコード）を印刷する。

- ① 2 * **A**
- ② 3 * **B**
- ③ **Shift** 押しながら **F12**



- ④ 右のウィンドウで**はい**を選択



自動的に、予約した年月日時分のJANコードが生成され、選択した2文字と合わせたファイル名で保存されました。



※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

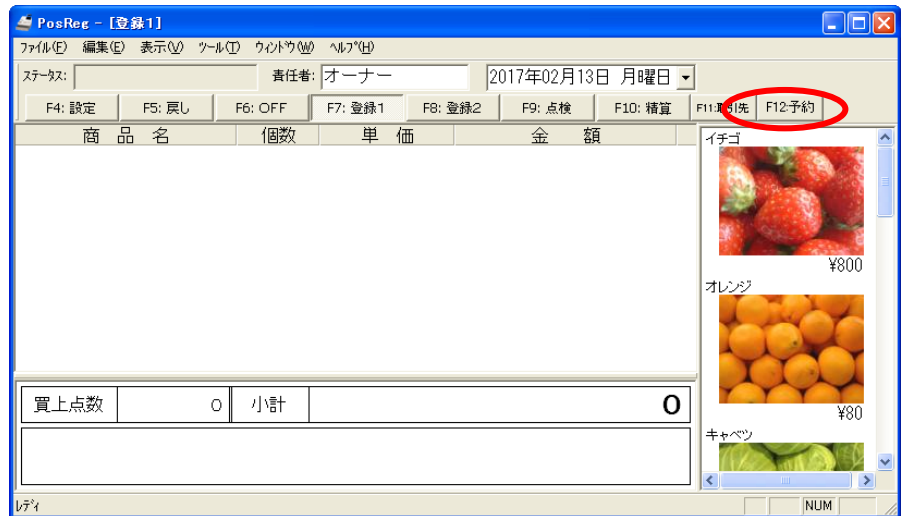
7-3. 予約を呼び出す

予約票を元に、PosReg に予約内容を呼び出し会計します。

〔例1〕任意指定の予約を呼び出す。

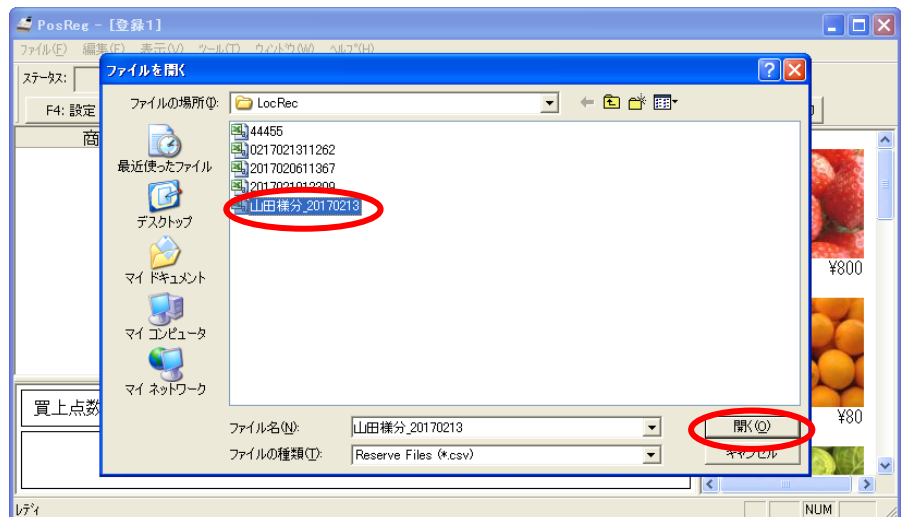
①登録1の画面で

Shift 押しながら F12

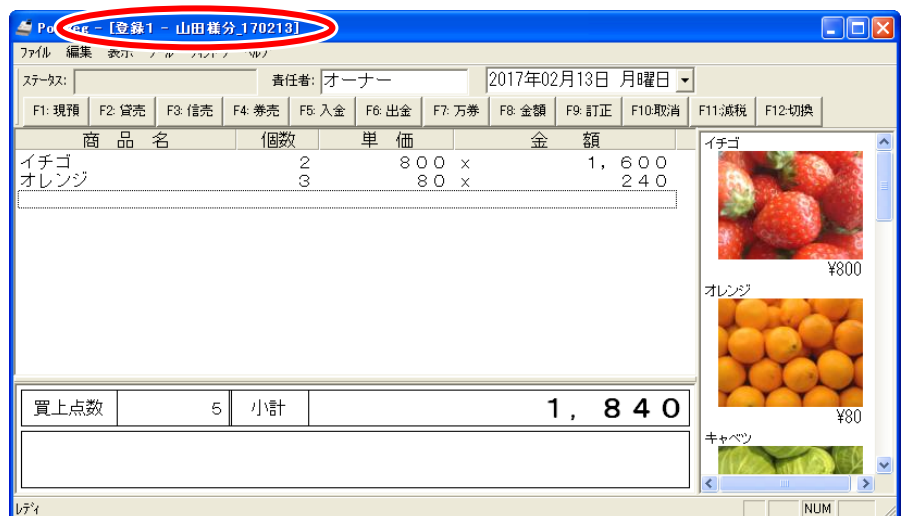


④呼び出したい予約のファイルを選択し、

開く



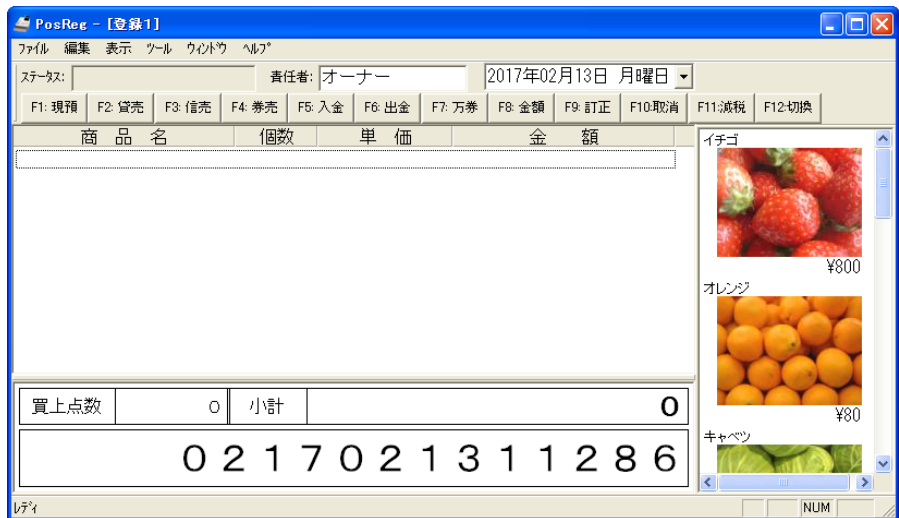
⑤任意の予約が呼び出されたので、希望の支払い方法で会計



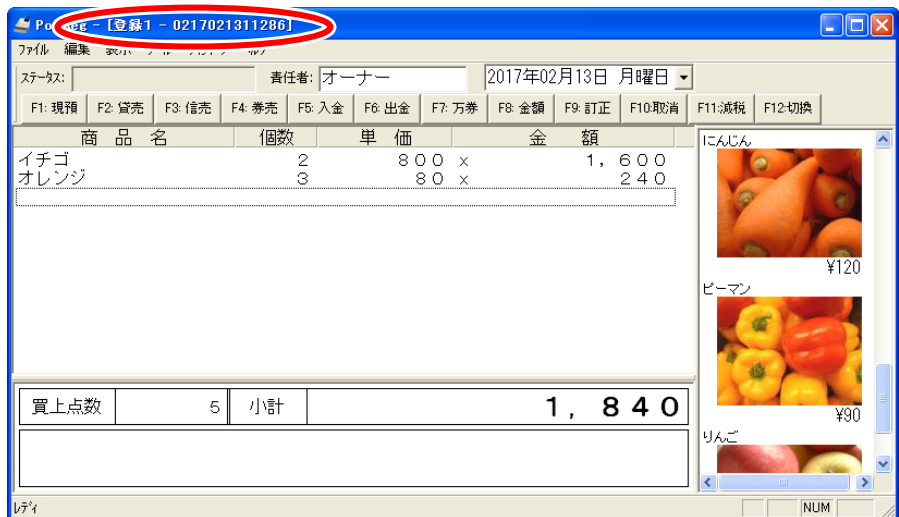
※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

〔例2〕 J A Nコードの予約を呼び出す。

- ①登録1の画面でファイル名を入力または、バーコードリーダーで予約票のバーコードを読み取る



- ④任意の予約が呼び出されたので、希望の支払い方法で会計



※一度スキャン（呼び出し）したファイルは消去されるので、間違えてスキャンした場合は再度予約し、レシートを振り替えてください。

第8章 点検

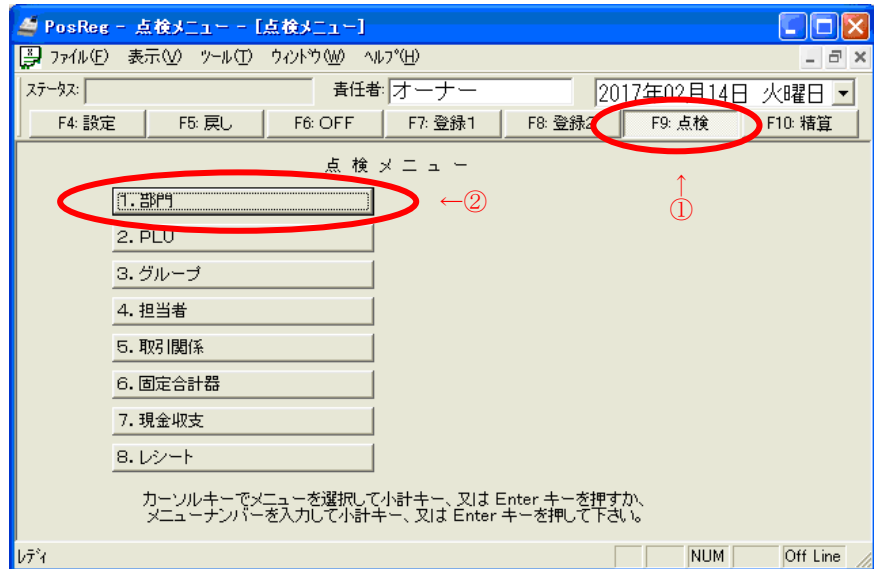
点検は、営業時間中にそれまでの売上合計、現金在高などを確認したいときに行います。

この点検は必要に応じて何回でも行うことができます。

点検を行う場合は、モードを[点検] (F9) に変更します。

〔例〕部門点検の方法

- ① F9: 点検 (F9)
- ② 1. 部門



- ③ 点検結果がレシートへ印刷されると同時に、画面にも表示されます。

- ④ 結果の確認ができたなら

F10: 閉じる をクリックし、
[点検メニュー] に戻ります。



※PLUやグループなどの点検を行う場合は、[点検メニュー]画面でそれぞれのメニューを選択してください。

※部門やPLUなどの点検を行う場合は、レシートの印字が長くなる場合があります。

レシート用紙が十分にあることを確認してから実行してください。

※レシート印字が必要でない場合は、[点検メニュー]画面で「1. 部門」などのメニューを選択する前にレシートオン/オフ (F7) キーを押し、レシートオフにしておきます。

画面に「レシート OFF」と表示され、以後、点検だけでなく登録を行った場合もレシート印字は行いません。レシート印字を再開する場合は、再びレシートオン/オフ (F7) キーを押し、「レシート OFF」を解除します。

第9章 精算

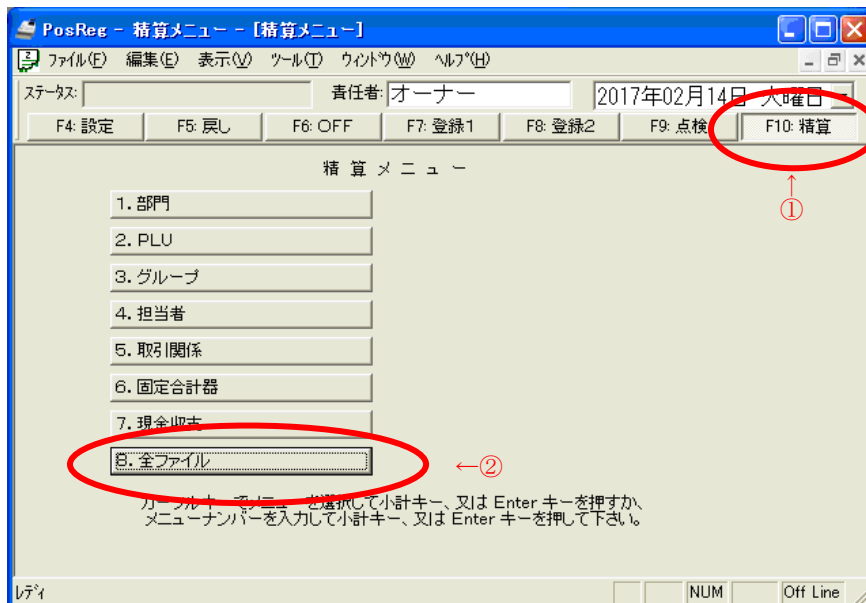
精算は、1日の営業が終了した場合などに行われる処理です。

一度精算を行うと、精算を行った部分（部門、グループなど）は0クリアされます。

精算を行う場合は、モードを[精算] (F10) に変更します。

9-1. 全体精算の方法

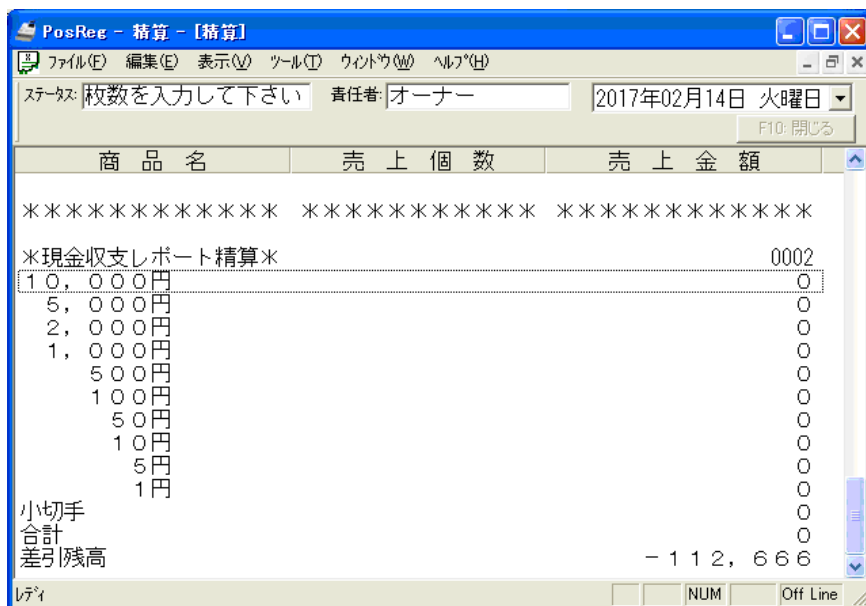
- ① F10: 精算 (F10 キー)
- ② 8. 全ファイル
- ③ 精算処理を行うかどうかの確認画面が出ますので、はい(Y)を選択します。



- ④ レジ内の現金を金種ごとに数え、その枚数を入力します。
0枚の金種は入力しません。
- ⑤ ↓キーで下行へ移動しながらすべての枚数を入力します。

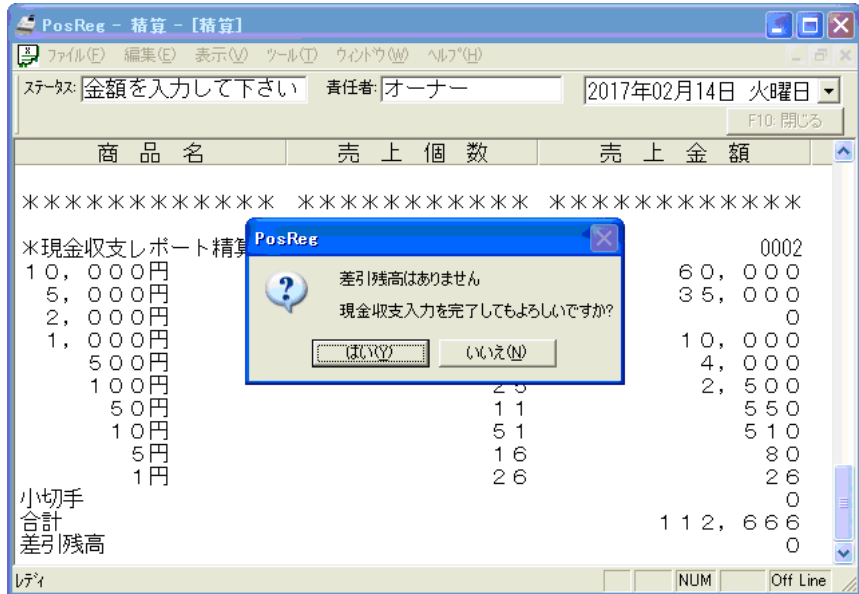
※間違えた場合は↑キーで戻って訂正します。

※小切手の場合は金額を入力してください。

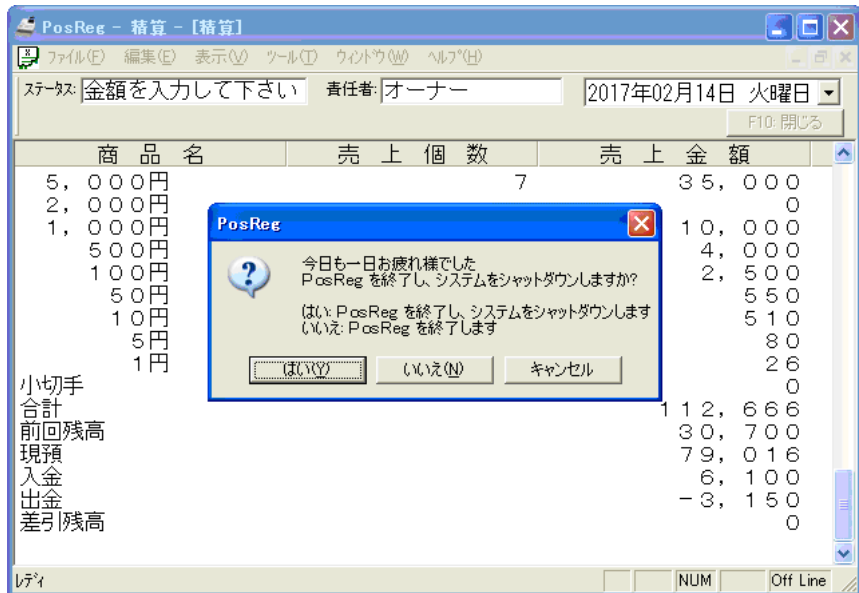


※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

- ⑥合計の行まで移動すると、右図のような確認画面が出ます。
完了する場合は「はい(Y)」を選びます。
⑦精算レポートが印刷されます。



- ⑧パソコンを終了する場合
「はい(Y)」
PosRegのみ終了する場合
「いいえ(N)」
PosRegを終了しない場合
「キャンセル」



9-2. 精算レポートの見方

2017年 2月10日(金)				レポ-ト発行年月日	
部門レポ-ト 精算		0002		レポ-ト名称	精算回数
イチゴ				部門名称	
個数	37	平均単価	@517	個数	平均単価
売上額			¥19,140	売上金額	
構成比			20.73%	売上金額構成比 (各部門/部門合計)	
オレンジ					
個数	42	平均単価	@80		
売上額			¥3,360		
構成比			3.64%		

ピーマン					
個数	41	平均単価	@90		
売上額			¥3,690		
構成比			4.00%		
りんご					
個数	34	平均単価	@120		
売上額			¥4,080		
構成比			4.42%		

合計				部門売上合計個数	部門売上合計金額
個数			613		
売上額			¥92,320		

PLUレポ-ト 精算		0002		レポ-ト名称	精算回数
さがとよのか		4987654321018		PLU 名称	PLU コード
個数	8	平均単価	@580	個数	平均単価
売上額			¥4,640	売上金額	
構成比			50.88%	売上金額構成比 (各 PLU/PLU 合計)	
メークイン		5010260123451			
個数	35	平均単価	@128		
売上額			¥4,480		
構成比			49.12%		

合計				PLU 売上合計個数	PLU 売上合計金額
個数			43		
売上額			¥9,120		

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

グループレポート 精算 0002				レポート名称	精算回数
くだもの				グループ名称	
個数	113	平均単価	@235	個数	平均単価
売上額			¥26,580	売上金額	
構成比			28.79%	売上金額構成比 (各グループ/グループ合計)	
野菜					
個数	500	平均単価	@131		
売上額			¥65,740		
構成比			71.21%		
合計 -----					
個数			613	グループ売上合計個数	
売上額			¥92,320	グループ売上合計金額	

担当者レポート 精算 0002				レポート名称	精算回数
担当者01	No. 0001			担当者名	担当者No.
	純売件数		13	純売上件数 (NET 件数)	
	純売金額		¥92,776	純売上金額 (NET 金額)	
	総売個数		613	純売上個数 (Gross 個数)	
	総売金額		¥92,776	純売上金額 (Gross 金額)	
合計 -----				① 純売上 = 総売上 ± 取引 (% ±, ±)	
純売件数			13	担当者純売上合計件数	
純売金額			¥92,776	担当者純売上合計金額	
総売個数			613	担当者総売上合計個数	
総売金額			¥92,776	担当者総売上合計金額	

取引レポート 精算 0002				レポート名称	精算回数
現預	件数		13	取引キー名称	件数
	金額		¥79,016	取引キー金額	
信売	件数		2		
	金額		¥13,760		
入金	件数		2		
	金額		¥6,100		
出金	件数		1		
	金額		¥3,150		
替	件数		1		

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

固定合計レポート 精算 0002			レポート名称	精算回数
純売	件数	13	純売上件数	
	金額	¥92,776	純売上金額	
総売	個数	613	総売上個数	
	金額	¥92,776	総売上金額	
戻	件数	1	戻件数	
在高	金額	¥81,966	現金在高	
G T	金額	¥183,739	グランドトータル	
客平均	個数	47.15	平均客売上個数	
	金額	¥7,136	平均客単価	
外課税	金額	¥9,120	外課税対象額	
外税金	金額	¥456	外税金額	
内課税	金額	¥83,200	内課税対象額	
内税金	金額	¥3,956	内税金額	

現金収支レポート 精算 0002				レポート名称	精算回数
10,000円	6	¥60,000	金種	枚数	金種別額
5,000円	7	¥35,000			
2,000円		¥0			
1,000円	10	¥10,000			
500円	8	¥4,000			
100円	25	¥2,500			
50円	11	¥550			
10円	51	¥510			
5円	16	¥80			
1円	26	¥26			
小切手		¥0	小切手総額		
合計		¥112,666	合計在高		
前回残高		¥30,700	釣銭用現金総額		
担当者01	Z	15:25	担当者名	精算シンボル(Z)	時間 発券No.

第10章 サンプル集

データベースサンプルや設定例の説明です。

PosRegのPLU設定や取引先設定を参照するのではなく、マイクロソフトのExcelで指定したエクセルファイルを参照し、取引先と商品を管理するよう設定できます。

収録済みのサンプルを編集し、簡単にリンクさせることができます。

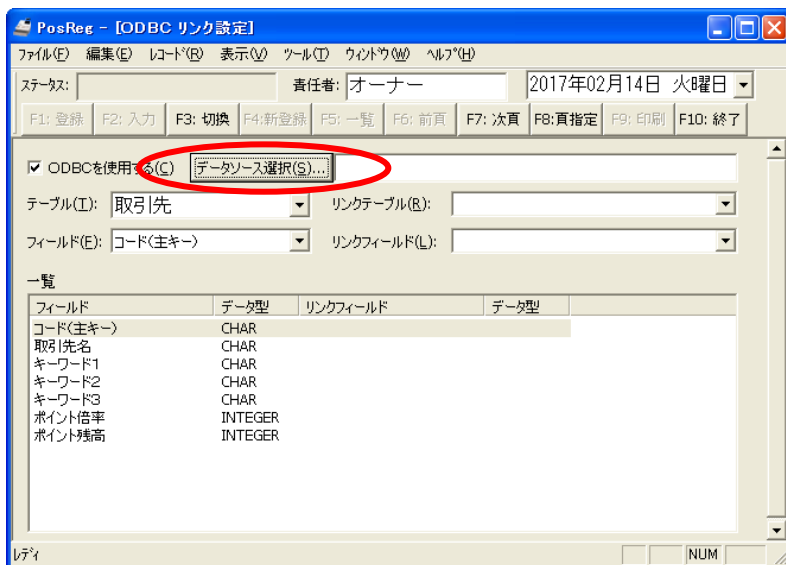
■ 方法1

「ファイル」メニューの「データベースのリストア」で、インストールフォルダ（通常は、C:\Program Files\PATOK\PosReg）にある、「Samples」フォルダを開き、「八百屋 (xls 参照) .dbk」を選ぶと、同フォルダの「八百屋.xls」を参照するようになります。

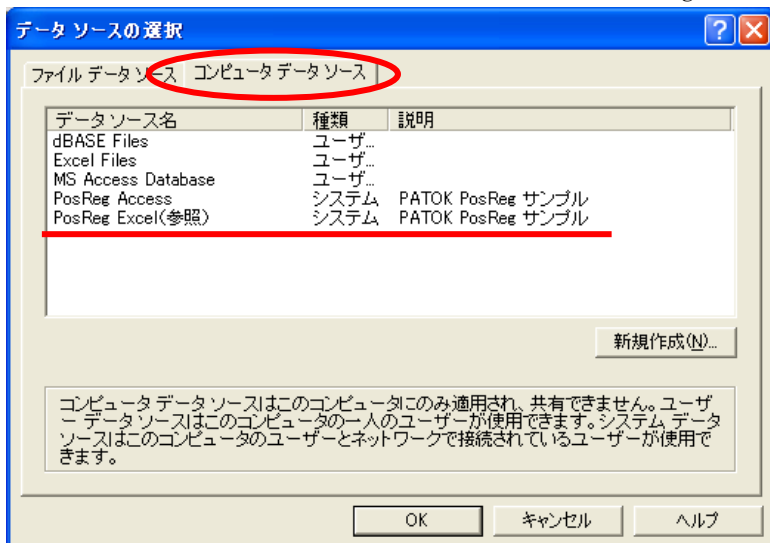
イメージファイルは、同「Samples」フォルダの「Image2」をインポートして下さい。

■ 方法2

設定のODBCリンクで「ODBCを使用する」にチェックを入れ、「データソース選択」ボタンをクリックします。



「コンピューターデータソース」タブをクリックし、「PosReg Excel (参照)」を選んで「OK」をクリックします。



※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

※P o s R e gより先に、「八百屋.xls」を開いていないと、エクセルで編集しながらP o s R e gでの参照はできません。

※必要に応じて、シート（リンクテーブル）や列（リンクフィールド）を追加し、P o s R e gのテーブルとフィールドに割り当ててください。

○更新を許可する

更新を許可すると、商品の在庫管理や、取引先のポイント管理が可能になります。

「設定」の「ODBCリンク」のデータソース入力欄で、下図1に示す通り、「ReadOnly」を探し、「1」を「0」に変更し、登録します。

※P o s R e g起動中は、「八百屋.xls」を開くことができませんので、マイクロソフトのアクセス等、データベースソフトの使用を推奨します。

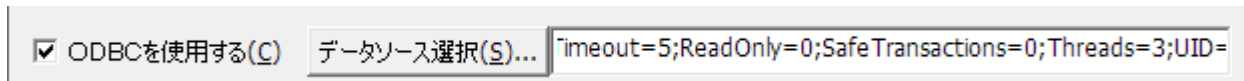


図1 更新を許可

○「八百屋.xls」を他のエクセルファイルに変更する

「設定」の「ODBCリンク」のデータソース入力欄で、図2に示す通り、「八百屋.xls」を探します。

使用したいエクセルファイルに、「DBQ=」から「八百屋.xls」までを、ファイルの場所と名前に変更し、登録します。

※最初は、「八百屋.xls」をコピーしたものを使用して下さい。

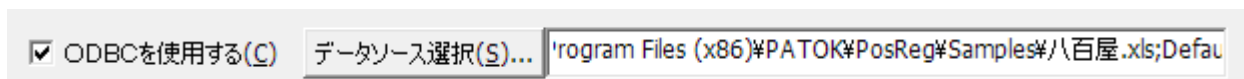


図2 エクセルのファイル名

第11章 付録

■ 部門、PLUや取引先のインポートと、部門、PLU、取引先やレシートのエクスポートに対応

CSV形式ファイルのインポートとエクスポートに対応し、部門、PLUや取引先を、エクセル等のアプリケーションで編集できます。

部門設定、PLU設定や取引先設定で、「ファイル」メニューから、「CSVのエクスポート」や「CSVをインポート」が行えます。

インポートする際、既存のレコードを全て削除できます。

削除しない場合、既存のレコードは、該当する列名の値のみ、上書きされます。

※部門とPLUは、部門精算やPLU精算を行っていないと、削除できません。

※インポートする際、1行目に列名が必要で、256列以内であれば、異なる列名は無視して、インポートを行います。

追加するレコードで、該当する列名のない場合は、空白または0になります。

レシートのエクスポートは、オプション設定の「レシートをCSV形式で保存する」を選択すると、会計が終わる度に、指定したファイルに追加保存されます。

ファイル名には、現在日時を使用するための書式を指定できます。

・ファイル名の書式

%y : 年、%m : 月、%d : 日、%H : 時、%M : 分、%S : 秒、%% : %

例) 日付毎に保存するファイルを変えたい場合、“TR%%y%%m%%d.csv”を指定します。

□部門

部門の列名は、表示名、印刷名、部門番号、グループリンク、部門一覧選択、単価、入力桁制限、置数オーバーライド不可、内税指定、

消費税非課税指定、特別地方税非課税指定、税率指定とポイント対象指定があります。
 インポートする際、部門番号は必須列名ですので、重複しないように指定して下さい。

- ・表示名・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24文字（全角12文字）以下
- ・印刷名・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12文字（全角6文字）以下
- ・部門番号・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～999
- ・グループリンク・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～999
- ・部門一覧選択・・・・・・・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・単価、入力桁制限・・・・・・・・・・・・ 0～10
- ・置数オーバーライド不可・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・内税指定・・・・・・・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・消費税非課税指定・・・・・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・特別地方税非課税指定・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・税率指定・・・・・・・・・・・・・・ 0～3（0：基本消費税率、1～3：消費税率1～消費税率3）
- ・ポイント対象指定・・・・・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）

□PLU

PLUの列名は、表示名、印刷名、部門一覧選択表示順番、コード、部門リンク、単価、入力桁制限、置数オーバーライド不可、内税指定、

消費税非課税指定、特別地方税非課税指定、税率指定とポイント対象指定があります。
 インポートする際、コードは必須列名ですので、重複しないように指定して下さい。

- ・表示名・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24文字（全角12文字）以下
- ・印刷名・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12文字（全角6文字）以下
- ・部門一覧選択表示順番・・・・・・・・ 0～99
- ・コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8/13文字のバーコード
- ・部門リンク・・・・・・・・・・・・・・ 1～999
- ・単価、入力桁制限・・・・・・・・・・・・ 0～9
- ・置数オーバーライド不可・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・内税指定・・・・・・・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・消費税非課税指定・・・・・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・特別地方税非課税指定・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）
- ・税率指定・・・・・・・・・・・・・・ 0～3（0：基本消費税率、1～3：消費税率1～消費税率3）
- ・ポイント対象指定・・・・・・・・・・・・ 0/1（0：OFF/1：ON）

□取引先

取引先の列名は、コード、名称、ポイント残高、付与ポイントとポイント倍率があります。
 インポートする際、コードは必須列名ですので、重複しないように指定して下さい。

- ・コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13文字以下
- ・名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32文字（全角16文字）以下
- ・ポイント残高・・・・・・・・・・・・・・ 0～999, 999, 999
- ・付与ポイント・・・・・・・・・・・・・・ 0～999, 999, 999
- ・ポイント倍率・・・・・・・・・・・・・・ 0～1, 000（100：1倍、300：3倍）

□レシート

レシートの列名は、日時、テーブルNo、レコードNo、表示名、印刷名、コード、サブコード、内税指定、消費税非課税指定、消費税免税指定、特別地方税非課税指定、税率指定、ポイント対象指定、数量、単価と金額があります。

※予約で保存するファイルの書式も同じですので、他のアプリケーションで作成したファイルを、予約で開くことが可能です。

- ・日時・・・・・・・・・・年／月／日 時：分：秒
(オプション設定の「日時列を追加する」で追加可能)
- ・テーブルNo・・・・・・・・・・0～15 (5、6と9は未使用)
- ・レコードNo・・・・・・・・・・0～4095
- ・表示名・・・・・・・・・・24文字(全角12文字)以下、テーブルNo.0のみ32文字
(全角16文字)以下
- ・印刷名・・・・・・・・・・12文字(全角6文字)以下
- ・コード・・・・・・・・・・空白か、8/13文字のバーコード
- ・サブコード・・・・・・・・・・空白か、8/13文字のバーコード(2段値札でのみ使用)
- ・内税指定・・・・・・・・・・0/1 (0:OFF/1:ON)
- ・消費税非課税指定・・・・・・・・・・0/1 (0:OFF/1:ON)
- ・消費税免税指定・・・・・・・・・・0/1 (0:OFF/1:ON)
- ・特別地方税非課税指定・・・・・・・・・・0/1 (0:OFF/1:ON)
- ・税率指定・・・・・・・・・・0～3 (0:基本消費税率、1～3:消費税率1～消費税率3)
- ・ポイント対象指定・・・・・・・・・・0/1 (0:OFF/1:ON)
- ・数量・・・・・・・・・・0～999, 999
- ・単価・・・・・・・・・・0～999, 999, 999
- ・金額・・・・・・・・・・0～999, 999, 999

※精算を行うまでの金額合計が、999, 999, 999を超えると、固定合計器等の精算レポートが合わなくなります。

※使用していない列の値は、空白か0を指定します。

○テーブルNo.0

取引先の情報を指定します。

列名とテーブルNo.15(最終行)の次の行以外には指定できません。

その他使用する列は、表示名(名称)、コード、単価と金額のみです。

単価はポイント倍率を、金額はポイント残高を指定します。

○テーブルNo.1

部門やPLUの情報を指定します。

レコードNo.は登録済みの部門番号(1～999)を指定します。

その他全ての列を、必要に応じて指定します。

○テーブルNo.2

締めキーファイル(取引1)の情報を指定します。

レコードNo.はファンクションコード(1～5)を指定します。

その他の使用する列は、表示名、印刷名と金額のみです。

○テーブルNo.3

取引キーファイル(取引2)の情報を指定します。

レコードNo.はファンクションコード(20～39)を指定します。

その他全ての列を、必要に応じて指定します。

○テーブルNo.4

合計器を持たないキーの情報を指定します。

レコードNo.は次に示すものを指定します。

62：小計、75：客数

その他の使用する列は、小計が表示名、印刷名、税関係の指定と金額で、客数が表示名、印刷名と金額のみです。

○テーブルNo.7

固定合計器ファイルの情報を指定します。点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.8

合計器を持たない機能の情報を指定します。

レコードNo.は次に示すものを指定します。

0：小計、1：サービス、2：釣、3：課税額、4：消費税、5：税込額、6：税含む、7：特地税、
8：奉仕料、10：税込免税額、11：税込免税額1、12：税込免税額2、13：税込免税額3、
14：課税額1、15：課税額2、16：課税額3、17：消費税1、18：消費税2、19：消費税3、
47：税込額1、48：税込額2、49：税込額3、50：税含む1、51：税含む2、52：税含む3、
53：獲得ポイント、54：ポイント残高

※一部のレコードNo.は、点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

その他の使用する列は、特地税とポイント残高を除き、表示名、印刷名と金額のみです。

特地税は非課税指定が1（ON）になり、ポイント残高は税関係の指定が加わります。

○テーブルNo.10

構成比を持つレポート項目の情報を指定します。点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.11

構成比を持たないレポート項目の情報を指定します。点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.12

レポートの情報を指定します。点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.13

罫線の情報を指定します。

使用できる列は、表示名と印刷名のみです。

○テーブルNo.14

空白の情報を指定します。

使用できる列はありません。

○テーブルNo.15

最終行（担当者・日付・連番）の情報を指定します。

レコードNo.は次に示すものを指定します。

192：精算、193：点検、194：登録1、195：登録2、197：戻し

表示名は、会計年月日時分を指定します。

印刷名は、担当者名（印刷）を指定します。

コードは、ストア/マシンNo.を指定します。

数量は、担当者番号を指定します。

単価は、レシートNo.を指定します。

金額は会計金額を指定します。

その他の列は使用しません。